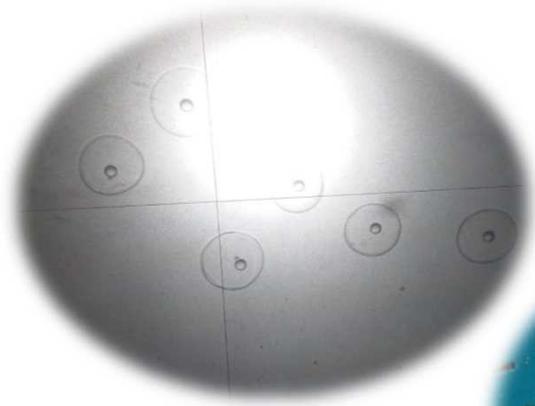


和歌山の水産

令和4年



和歌山県
農林水産部 水産局

本県水産業のあらまし

和歌山県は、我が国最大の半島である紀伊半島の西部に位置し、約 651 k m に及ぶリアス式海岸状の地形を有し、温暖な気候を利用して、水産業のほか農林業など一次産業を主体として栄えた地域です。

本県の海域は内海性の瀬戸内海と外洋性の太平洋に二分され、それぞれの海域特性に応じて各種漁業が営まれています。瀬戸内海海域では、たちうおやえび類などを対象とした小型底びき網漁業、しらすやいか類を対象とした機船船びき網漁業のほか、まだいやあじ類、さば類を対象とした一本釣漁業等が営まれています。一方太平洋海域は、本州最南端の串本町沖合海域を流れる黒潮本流の離接岸に強い影響を受け、かつおやまぐろ類を対象としたひき縄釣漁業、はえ縄漁業、いさきやまだい、ぶり類等を対象とした一本釣漁業のほか、あじ類やさば類を対象としたまき網漁業、定置網漁業、棒受網漁業、いせえびや磯魚を対象とした刺網漁業等種々の漁業が営まれています。

内水面においては紀の川から熊野川まで豊かな清流に恵まれ、あゆやあまご等の遊漁がおこなわれており、毎年県内外から多くの釣客が訪れています。また、紀の川、有田川、日高川及び富田川周辺地区では、これらの清流の伏流水を利用してあゆ等の養殖業が営まれています。

近年の水産業は全国的に厳しい状況にありますが、本県においては、令和8年度を目標とする「和歌山県長期総合計画」を平成29年度に策定し、水産関係では「時代の変化に対応できる収益性の高い水産業」の実現に向け、各種施策を推進しています。

具体的には、公的規制と漁業者による自主的な取組の双方を組み合わせた資源管理やひらめ、あわび類等の種苗放流、藻場回復等の磯根漁場の再生等による「資源管理対策の推進」、不漁に強い漁業経営グループの創出、産地市場の拠点化支援等による「収益性の向上に向けた経営構造改革」、観光業と連携したマリンレジャーや漁業体験等による「経営の多角化」、次代につなぐ漁村づくり支援による「担い手の確保・育成」に取り組んでいます。

小誌は本県の水産業の現状を紹介したもので、水産関係者をはじめ各方面の方々にご活用頂ければ幸いに存じます。

[資料]

令和2年漁業・養殖業生産統計年報
2018漁業センサス
農林水産部水産局業務資料
県土整備部港湾空港局港湾漁港整備課業務資料

[表中に使用した符号]

—は、事実のないもの
χは、秘密保護のため統計数値を公表しないもの
…は、事実不詳又は調査を欠くもの

表紙写真 県水産試験場で種苗生産したシロアマダイ
(写真上)受精卵
(写真中)配合飼料に群がる稚魚
(写真下)日齢80の稚魚

目 次

I	和歌山県水産業の概要	
1	和歌山県漁業の全国に占める位置	1
	(1) 漁業生産構造	1
	(2) 生産量・産出額の占める割合	1
	(3) 生産量・産出額の順位	2
2	漁業生産構造	3
	(1) 漁業経営体	4
	(2) 漁業世帯・漁業就業者	5
	(3) 漁船	6
	(4) 漁港	6
	(5) 漁業権免許状況	6
	(6) 漁業許可状況	7
3	漁業生産	9
	(1) 漁業・養殖業部門別生産量	10
	(2) 主要海面漁業・養殖業種類別生産量	10
	(3) 海面漁業魚種別漁獲量	11
	(4) 海面養殖業収獲量	16
	(5) 内水面漁業・養殖業生産量	17
	(6) 漁業産出額	18
4	水産加工	22
II	漁業振興施策	25
	(1) 磯根漁場再生事業	26
	(2) 漁業経営構造改善事業	27
	(3) 水産基盤整備事業(漁場整備)	27
	(4) 水産基盤整備事業等(漁港整備)	29
	(5) 栽培漁業推進対策事業	30
	(6) 内水面漁業振興対策事業	31
	(7) 金融対策事業	32
	(8) プレミア和歌山認定品	33
	(9) 魚食普及・漁業体験交流活動	34
III	組織等	35
	(1) 和歌山県水産行政機構	35
	(2) 水産関係予算	36
	(3) 水産団体	37

I 和歌山県水産業の概要

1 和歌山県漁業の全国に占める位置（令和2年）

海面及び内水面漁業の生産量は、令和元年に比べ389トン(2%)減少して17,023トンになり、全国29位であった。魚種別漁獲量で全国的に上位を占めている種類は、いせえびが130トンとなり全国の13%を占め3位、たちうおが467トンとなり全国の7%を占め5位、むろあじ類が604トンで全国の5%を占め6位に、また、いさきが170トンで全国の5%を占め6位になっている。また、海産ほ乳類は131トンと全国の39%を占め1位となっている。養殖業の生産量では、くろまぐろが1,252トンで全国の7%を占め5位、まだいが1,867トンで全国の3%を占め6位であった。また、内水面養殖あゆは630トンで全国の16%を占め3位であった。

海面漁業の産出額は8億3,500万円(12%)減少して61億6,400万円と全国27位、海面養殖業の産出額は65億2,900万円と全国19位であった。海面漁業・養殖業の合計の産出額は126億9,300万円であり、全国29位であった。

(1) 漁業生産構造

項目	単位	和歌山県 (A)	全国 (B)	(A)／(B) %
漁業経営体	経営体	1,581	79,067	2.0
漁業就業者数	人	2,402	151,701	1.6
自営漁業就業者数	人	1,533	86,943	1.8
漁業雇われ就業者数	人	869	64,758	1.3
使用漁船隻数	隻	2,327	132,201	1.8

* 2018漁業センサスより

(2) 生産量・産出額の占める割合

(生産量：t 産出額：百万円)

項目			和歌山県 (A)	全国 (B)	(A)／(B) %
生産量	海面	漁業	13,065	3,213,334	0.4
		養殖業	3,303	969,649	0.3
		小計	16,368	4,182,983	0.4
	内水面	漁業	7	21,745	0.03
		養殖業	648	29,087	2.2
		小計	655	50,832	1.3
合計		17,023	4,233,815	0.4	
産出額	海面	漁業	6,164	773,483	0.8
		養殖業	6,529	436,847	1.5
	合計		12,693	1,210,330	1.0

* 令和2年漁業・養殖業生産統計(令和3年5月現在)より

* 捕鯨業を除く

(3) 生産量・産出額の順位

令和2年 漁業総生産量および海面漁業産出額の全国順位

(生産量：t 産出額：百万円)

項目		順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
総生産量	海面	合計	北海道 989,026	長崎 251,072	宮城 248,959	静岡 186,500	青森 172,491	愛媛 148,014	三重 144,639	宮崎 132,286	広島 118,116	兵庫 118,081	32位 和歌山 16,368
		漁業	北海道 894,911	茨城 302,213	長崎 228,051	静岡 184,055	宮城 165,161	三重 124,667	宮崎 118,947	千葉 99,143	鳥取 91,390	青森 91,117	30位 和歌山 13,065
		養殖業	広島 99,158	北海道 94,115	宮城 83,798	青森 81,374	佐賀 76,685	兵庫 76,490	愛媛 66,848	熊本 52,990	福岡 50,245	鹿児島 48,932	23位 和歌山 3,303
	内水面	漁業	北海道 7,106	島根 4,121	青森 3,300	茨城 2,438	滋賀 833	山形 448	新潟 411	栃木 356	神奈川 345	鳥取 293	36位 和歌山 7
		養殖業	鹿児島 7,125	愛知 5,668	宮崎 3,252	静岡 2,499	長野 1,306	岐阜 1,216	福島 1,143	山梨 939	茨城 920	栃木 705	11位 和歌山 648
		合計	北海道 202,084	長崎 89,257	愛媛 75,639	宮城 71,847	鹿児島 64,892	兵庫 48,837	静岡 45,860	青森 45,353	高知 42,441	三重 36,098	29位 和歌山 12,693
産出額	海面	合計	北海道 202,084	長崎 89,257	愛媛 75,639	宮城 71,847	鹿児島 64,892	兵庫 48,837	静岡 45,860	青森 45,353	高知 42,441	三重 36,098	29位 和歌山 12,693
		漁業	北海道 180,054	長崎 56,443	宮城 48,732	静岡 43,243	青森 34,786	高知 24,023	岩手 23,776	兵庫 23,661	千葉 23,223	宮崎 22,388	27位 和歌山 6,164
		養殖業	愛媛 58,598	鹿児島 46,667	長崎 32,814	熊本 28,701	佐賀 27,298	兵庫 25,177	大分 23,172	宮城 23,116	北海道 22,030	福岡 21,661	19位 和歌山 6,529

注：生産量のうち海面養殖業及び合計については茨城県・東京都が、内水面漁業については静岡県・鹿児島県が、内水面養殖業については大阪府・沖縄県が秘密保護のため順位に含まれていない。また、生産額のうち海面漁業及び海面養殖業については茨城県・東京都が秘密保護のため順位に含まれていない。

注：生産量・産出額は共に都道府県の積み上げ値であり、捕鯨業は除く。

令和2年 全国10位以内に入る主な漁業種類

(単位：t)

区分	全国値	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
近海まぐろはえ縄	32,401	高知 8,211	宮崎 8,193	宮城 6,777	沖縄 5,194	大分 1,460	三重 1,043	和歌山 319			
沿岸まぐろはえ縄	3,901	宮崎 1,730	沖縄 1,170	青森 328	千葉 150	岩手 118	北海道 105	宮城 58	東京 42	高知 30	和歌山 13
沿岸かつお一本釣	13,043	高知 9,089	三重 1,319	宮崎 558	鹿児島 498	沖縄 339	和歌山 282	神奈川 89			
ひき縄釣	11,599	高知 2,392	沖縄 1,683	長崎 1,637	和歌山 937	福岡 866	三重 602	宮崎 572	兵庫 537	鹿児島 489	東京 287

令和2年 全国10位以内に入る主な魚種

(単位：t)

区分	全国値	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
たちうお	6,395	千葉 968	長崎 962	熊本 705	鹿児島 480	和歌山 467	神奈川 429	愛媛 401	宮城 386	徳島 227	大分 225
いせえび	1,023	三重 229	千葉 188	和歌山 130	徳島 102	静岡 83	宮崎 55	高知 44	鹿児島 41	神奈川 31	茨城 30
むろあじ類	12,482	宮崎 3,330	長崎 2,663	鹿児島 2,520	兵庫 702	高知 687	和歌山 604	静岡 427	三重 321	山口 203	福岡 157
いさき	3,384	長崎 1,066	福岡 359	山口 320	三重 219	島根 201	和歌山 170	鹿児島 145	高知 134	千葉 126	愛媛 124
海産ほ乳類	336	和歌山 131	岩手 97	北海道 22	京都 17	石川 15	宮城 13	長崎 7	青森 6	新潟 3	三重 3
養殖くろまぐろ	18,167	長崎 5,556	鹿児島 3,492	高知 1,918	愛媛 1,433	和歌山 1,252	大分 1,222	三重 1,212			
養殖まだい	65,973	愛媛 38,258	熊本 8,835	高知 5,960	三重 3,538	長崎 2,566	和歌山 1,867	静岡 1,248	鹿児島 1,041	宮崎 1,011	香川 492
内水面養殖あゆ	4,044	愛知 1,189	岐阜 906	和歌山 630	栃木 318	滋賀 217	徳島 152	宮崎 127	福岡 91	熊本 87	大分 85

注：養殖くろまぐろについては、京都府・島根県・山口県・熊本県・沖縄県が秘密保護のため順位に含まれていない。

注：養殖まだいについては、千葉県・東京都・大阪府・兵庫県・山口県・徳島県・福岡県・沖縄県が秘密保護のため順位に含まれていない。

注：内水面養殖あゆについては、北海道・青森県・岩手県・宮城県・秋田県・福島県・東京都・新潟県・富山県・長野県・兵庫県・奈良県・鳥取県・島根県・岡山県・愛媛県・高知県・福岡県・鹿児島県が秘密保護のため順位に含まれていない。

2 漁業生産構造

(1) 漁業経営体

平成30年の海面漁業経営体数は1,581経営体で、前回調査(平成25年(2013年漁業センサス))に比べて、452経営体(22%)減少した。経営組織別では、個人経営体は1,535経営体、団体経営体は46経営体で、前回調査に比べそれぞれ22%、19%減少した。

主とする漁業種類では、「釣」は657経営体(構成比42%)で最も多く、次いで「刺網」は390経営体(構成比25%)となっている。また、減少率では、まぐろ延縄(60%減少して6経営体)、小型定置網(45%減少して11経営体)などが顕著である。その他漁業では10経営体増加して47経営体に、まだい養殖では1経営体増加して12経営体となっている。

階層別では、動力漁船3トン未満階層が660経営体(構成比42%)、3～5トン階層が297経営体(構成比19%)であり、前回調査に比べそれぞれ20%、37%減少した。

10年間(平成20年と平成30年)の対比では、全体で932経営体(37%)減少している。

(2) 漁業就業者

平成30年の漁業就業者数は2,402人で、前回調査に比べ505人(17%)減少した。男子は521人(19%)減少して2,293人になった。60歳以上の男子漁業就業者は326人(20%)減少して1,287人になり、男子漁業就業者に占める構成比率は平成13年の63%をピークに減少しているが、依然として半数以上の54%であり、漁業者の減少及び高齢化を顕著に示している。

10年間(平成20年と平成30年)の対比では、1,520人(39%)減少している。

(3) 漁 船

登録動力漁船隻数は、漁業経営体数の減少に伴い、10年間(平成24年と令和3年の対比)に一本釣漁船755隻(23%)、刺網223隻(34%)、敷網68隻(53%)、採介藻が23隻(17%)減少するなど、合計で1,373隻(26%)減少し、4,011隻になった。

令和2年末から令和3年末までの1年間では、一本釣75隻(3%)、刺網が13隻(3%)減少するなど、全体として118隻(3%)減少している。

(4) 漁 港

県内の漁業地区に94漁港があり、その内訳は第4種漁港2港、第3種漁港4港、第2種漁港11港、第1種漁港77港である。

(5) 漁業権免許状況

海面には地先共同漁業権42件、つきいそ漁業権87件等の共同漁業権135件、定置漁業権11件、区画漁業権135件、合計281件の漁業権が免許されている。

内水面には主にあゆ、あまごの第五種共同漁業権が10河川水系で23件が免許されている。

(6) 漁業許可状況

ア 知事許可漁業

小型機船底びき網漁業176件、機船船びき網漁業156件、敷網漁業197件、固定式刺網漁業613件等合計1,599件の漁業許可がされており、瀬戸内海区では底びき網漁業、船びき網漁業が、太平洋区では刺網漁業、敷網漁業が多い。

イ 大臣許可漁業

かつお・まぐろ漁業4件、基地式捕鯨業1件、合計5件の許認可を受けているほか、沿岸まぐろはえ縄漁業が4件届出により操業している。

(1) 漁業経営体

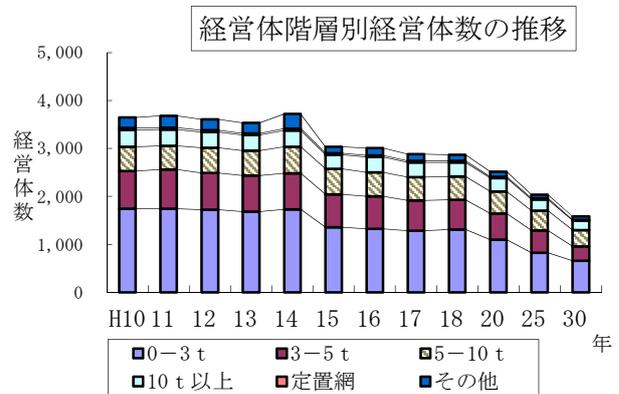
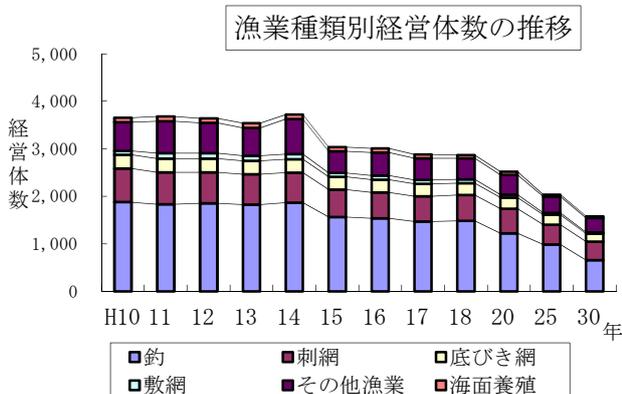
区分		H10	11	12	13	14	15	16	17	18	20	25	30
経営体階層別	漁船非使用	118	130	128	108	194	47	51	43	47	35	32	36
	無動力	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
	動力												
	0-3トン	1,745	1,743	1,722	1,681	1,729	1,356	1,325	1,286	1,307	1,096	821	660
	3-5トン	786	818	788	755	752	689	679	630	620	547	470	297
	5-10トン	505	495	525	519	552	531	499	485	491	462	412	339
	10トン以上	355	339	324	324	344	294	320	309	292	279	235	200
	大型定置	6	8	8	9	9	9	9	9	8	8	6	4
	小型定置	29	31	31	29	29	24	25	24	20	20	20	11
	地びき網	17	13	7	16	18	6	12	15	11	…	…	…
浅海養殖	89	103	93	96	94	82	87	77	69	65	37	34	
計	3,651	3,680	3,626	3,537	3,721	3,038	3,006	2,879	2,869	2,513	2,033	1,581	
経営組織別	個人経営	3,510	3,519	3,478	3,377	3,564	2,911	2,854	2,738	2,733	2,403	1,976	1,535
	漁業協同組合	9	5	7	9	9	8	9	8	8	4	4	4
	漁業生産組合	10	17	9	8	8	6	6	5	6	4	3	1
	共同経営	81	100	111	104	101	68	92	84	85	64	26	21
	会社経営	37	35	34	35	35	40	40	39	33	36	24	19
	その他	4	4	4	4	4	5	5	5	4	2	—	1
	計	3,651	3,680	3,643	3,537	3,721	3,038	3,006	2,879	2,869	2,513	2,033	1,581
漁業種別	基地式捕鯨	2	1	2	2	2	2	2	2	2	1	2	1
	小型底びき網	288	291	287	283	282	265	269	262	252	236	210	165
	まき網	17	19	20	17	20	19	19	18	18	17	10	9
	刺網	708	672	654	637	632	581	549	536	540	514	411	390
	釣	1,877	1,834	1,853	1,827	1,867	1,562	1,535	1,468	1,486	1,223	990	657
	まぐろ延縄	45	43	35	37	39	27	30	26	23	19	15	6
	その他の延縄	61	40	47	44	45	44	44	42	46	50	45	39
	大型定置網	6	8	8	9	9	9	9	9	8	8	6	4
	小型定置網	29	31	31	29	29	24	24	25	24	20	20	11
	敷網	80	114	113	108	106	85	88	80	76	59	40	32
	地びき網	17	13	12	16	18	6	12	15	11			
	船びき網	109	126	131	117	122	97	108	105	97	81	72	64
	採貝	207	275	243	218	258	165	165	150	150	178	138	122
	採藻	45	61	62	49	142	19	13	12	13			
	その他漁業	70	49	48	48	56	51	52	52	54	42	37	47
	真珠養殖	3	3	3	3	3	2	2	1	1	1	—	—
	ぶり養殖	5	8	7	6	7	6	6	6	6	3	2	1
	まだい養殖	49	48	48	48	44	42	44	43	34	27	11	12
	のり類養殖	11	9	9	8	9	6	4	3	1	6	—	—
わかめ類養殖	6	17	14	14	14	10	14	13	14	17	15	12	
その他養殖	16	18	16	17	17	16	17	11	13	11	9	9	
計	3,651	3,680	3,643	3,537	3,721	3,038	3,006	2,879	2,869	2,513	2,033	1,581	

※平成20年(2008年漁業センサス)以降、経営組織別のその他に官公庁・学校など試験研究機関は含まれていない

※平成20年(2008年漁業センサス)以降、敷網と地びき網はその他網漁業に含まれる

※平成19年以降の漁業経営体については、5年に1回の漁業センサス年のみ調査、公表されている

※平成14年のみ海上作業従事日数30日未満を含む

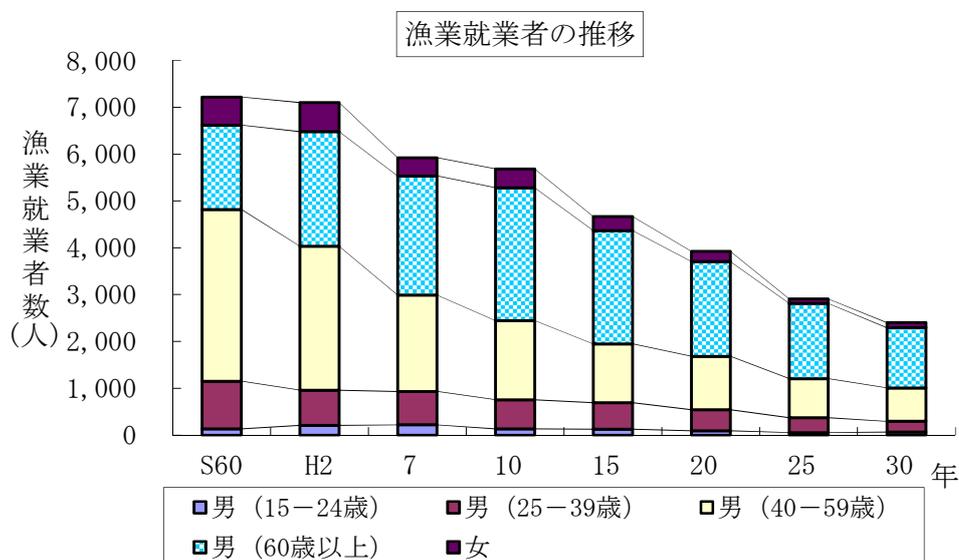


(2) 漁業世帯・漁業就業者

区分		年次	S60	H2	7	10	11	12	13	14	15	20	25	30
世帯数	個人漁業経営体		4,300	4,170	3,830	3,510	3,520	3,480	3,440	3,440	2,911			
	漁業従事者世帯		1,930	1,860	1,210	1,401	1,320	1,300	1,290	1,290	1,143			
	合計		6,230	6,030	5,040	4,911	4,840	4,780	4,730	4,730	4,054			
世帯員数	男	14歳以下	2,900	890	1,100	864	930	790	760	830	701	346	240	107
		15歳以上	9,310	6,510	7,230	6,868	6,730	6,810	6,790	6,660	5,512	3,364	2,739	2,074
		小計	11,300	7,400	8,330	7,732	7,660	7,600	7,550	7,490	6,213	3,710	2,979	2,181
	女	14歳以下	1,750	1,030	1,290	876	930	800	910	1,060	660	320	214	108
		15歳以上	9,320	6,280	6,920	6,691	6,560	6,650	6,530	6,330	5,110	3,403	2,349	1,722
		小計	11,070	7,310	8,200	7,567	7,490	7,450	7,440	7,390	5,770	3,364	2,563	1,830
合計	22,370	14,710	16,530	15,299	15,150	15,020	14,960	14,880	14,880	11,983	7,113	5,542	4,011	
漁業就業者数	男	15-24歳	130	210	220	130	120	110	110	90	127	88	51	61
		25-39歳	1,020	750	710	620	660	580	520	560	565	454	322	234
		40-59歳	3,670	3,070	2,060	1,693	1,450	1,310	1,280	1,350	1,251	1,139	828	711
		60歳以上	1,800	2,450	2,540	2,835	3,100	3,230	3,290	3,190	2,423	2,022	1,613	1,287
		(男に占める割合%)	(27.2)	(37.8)	(45.8)	(53.7)	(58.2)	(61.9)	(63.3)	(61.5)	(55.5)	(54.6)	(57.3)	(56.1)
	小計	6,620	6,480	5,540	5,278	5,330	5,220	5,200	5,190	4,366	3,703	2,814	2,293	
	女	600	620	390	404	360	360	320	310	302	219	93	109	
合計	7,220	7,100	5,930	5,682	5,690	5,580	5,520	5,500	4,668	3,922	2,907	2,402		

※平成16年以降、世帯数の調査は実施されていない。

※平成16年以降の漁業就業者数については、5年に1回の漁業センサス年のみ調査、公表されている。



(3) 漁 船 (令和3年12月末現在)

ア 漁業種類別動力漁船隻数

区分	年次										
	H24	25	26	27	28	29	30	R1	2	3	
採介藻	135	121	122	122	120	122	115	114	112	112	
定置網	91	84	80	80	77	75	69	69	65	66	
一本釣	3,328	3,312	3,229	3,166	3,085	2,993	2,827	2,717	2,648	2,573	
はえなわ	13	14	14	14	12	12	10	10	9	9	
刺網	659	603	590	560	540	517	486	461	449	436	
まき網	23	20	22	22	18	19	18	18	14	14	
まき網附属船	62	60	56	57	58	54	57	54	44	39	
敷網	129	114	104	103	96	87	79	72	65	61	
底びき網	250	237	232	201	186	185	180	181	178	176	
ひき網	226	211	202	192	192	188	177	174	168	164	
かつおまぐろ	15	14	13	12	6	6	6	5	5	4	
捕鯨	6	9	9	9	9	9	9	10	10	11	
官公庁船	38	44	45	48	49	48	50	49	49	50	
運搬船	114	111	109	105	98	96	93	94	94	89	
雑漁業	295	260	253	251	246	237	225	221	219	207	
合計	5,384	5,214	5,080	4,942	4,792	4,648	4,401	4,249	4,129	4,011	

イ トン数階層別・機関種類別動力漁船隻数

区分	年次			
	R2	3		
無動力	42	42		
動力階層別	トン数	0-3 t	2,579	2,505
		3-5 t	720	693
		5-10 t	630	620
		10-20 t	194	187
		20-30 t	0	0
		30-50 t	5	5
		50-100 t	0	0
		100 t以上	1	1
		小計	4,129	4,011
		機関種類別	船	ジーゼル
電気点火	1,425			1,392
小計	4,129			4,011
合計隻数	4,171	4,053		
合計トン数	13,645	13,275		
合計馬力数	331,692	327,119		

(4) 漁 港 (令和3年)

港種別漁港数

第1種	第2種	第3種	第4種	合計
77	11	4	2	94

(5) 漁業権免許状況 (令和4年3月末現在)

ア 海面

種類	共同				定置
	地先	つきいそ	飼付	計	
件数	42	87	6	135	11

種類	区画										合計
	わかめ	ひろめ	ひじき	ひおうぎ	あわび	かき	魚類	くろまぐろ	あわび地蒔	計	
件数	35	32	2	5	1	10	45	4	1	135	281

イ 内水面

第五種共同漁業権 23件(あゆ、あまご、こい、うなぎ、もくずがに)

イ 大臣許可漁業等

(令和4年3月末現在)

区分	市町名	由良町	みなべ町	田辺市	串本町	太地町	計	備考
かつお・まぐろ漁業		1	1	1	1	—	4	許可
基地式捕鯨業		—	—	—	—	1	1	〃
沿岸まぐろはえ縄漁業		1	1	1	1	—	4	届出



まぐろ漁船



基地式捕鯨船

(参考)

漁業違反に対する指導・検挙実績及び漁船安全指導件数 (ライフジャケット着用等)

年 度	法令指導	検挙 (行政処分を含む)	安全指導	計
H29	84	6	7	97
30	70	0	14	84
R1	83	0	2	85
2	77	0	2	79
3	69	1	6	76



漁業取締船「はやぶさ」平成28年12月竣工
総トン数38トン 最大速力36.0ノット



漁業取締船「みさき」平成14年7月竣工
総トン数39トン 最大速力45.8ノット

3 漁業生産(令和2年)

(1) 漁業・養殖業生産量

令和2年の海面漁業・養殖業生産量は16,368トンで、前年に比べ440トン(3%)減少した。漁業種類別では、大型定置網で467トン(28%)、近海まぐろはえ縄で67トン(27%)増加した一方で、船びき網で461トン(22%)、小型底びき網で353トン(17%)減少したことなどによる。魚種別では、まいわしが204トン(127%)、びんながが215トン(45%)、増加した一方で、むろあじ類が479トン(44%)、かつおが172トン(25%)減少したことなどによる。令和2年の内水面漁業・養殖業生産量は655トンで、前年に比べ51トン(8%)増加した。

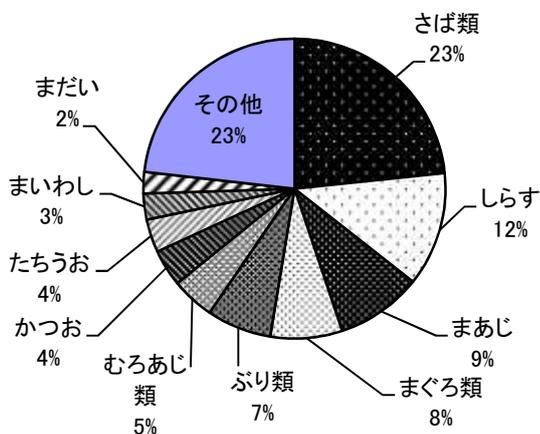
項目	単位：t			
	令和2年	令和元年	対前年差	対前年増減率 %
漁業・養殖業合計	17,023	17,412	△ 389	△ 2.2
海面漁業・養殖業計	16,368	16,808	△ 440	△ 2.6
海面漁業	13,065	13,752	△ 687	△ 5.0
海面養殖業	3,303	3,056	247	8.1
内水面漁業・養殖業	655	604	51	8.4
内水面漁業	7	8	△ 1	△ 12.5
内水面養殖業	648	596	52	8.7

(2) 漁業・養殖業産出額(海面)

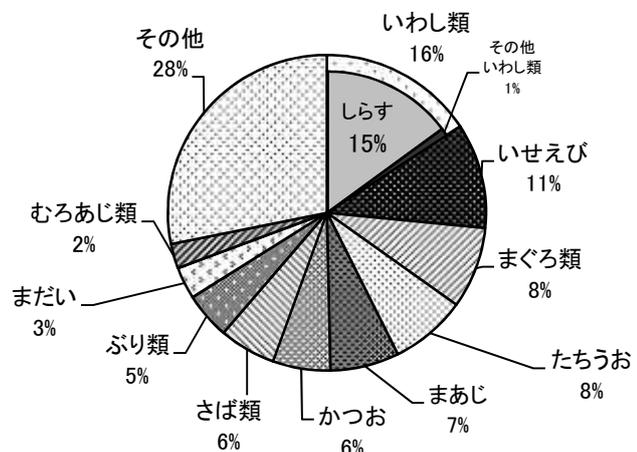
令和2年の海面漁業・養殖業産出額の合計は126億9,300万円で、海面漁業産出額が前年に比べ8億3,500万円(12%)減少して、61億6,400万円であり、海面養殖業が65億2,900万円であった。魚種別にみると、いわし類が3億3,500万円(26%)、たちうおが1億6,800万円(26%)減少した一方で、まぐろ類が1億2,700万円(33%)、養殖くろまぐろが6億5,000万円(16%)増加したことなどによる。

項目	単位：百万円			
	令和2年	令和元年	対前年差	対前年増減率 %
海面漁業・養殖業計	12,693	13,049	△ 356	△ 2.7
海面漁業	6,164	6,999	△ 835	△ 11.9
海面養殖業	6,529	6,050	479	7.9

海面漁業魚種別漁獲量の構成比(R2)



海面漁業魚種別産出額の構成比(R2)



(1) 漁業・養殖業部門別生産量

(単位：t)

年次・海区	合計	海面					内水面 漁業・ 養殖業
		計	遠洋漁業	沖合漁業	沿岸漁業	養殖業	
全国R2	4,233,815	4,182,983	298,441	2,043,907	870,986	969,649	50,832
H23	31,305	30,231		28,361		1,871	1,074
24	27,409	26,445		24,896		1,549	964
25	26,372	25,391		23,638		1,753	981
26	26,010	25,000		22,356		2,644	1,010
27	26,744	25,746		22,901		2,845	998
28	25,750	24,692		22,170		2,522	1,058
29	22,514	21,462		18,801		2,661	1,052
30	18,726	17,918		15,197		2,721	808
R1	17,412	16,808		13,752		3,056	604
2	17,023	16,368		13,065		3,303	655
瀬戸内海区	-	...		5,068		...	-
太平洋南区	-	...		7,997		...	-

※漁船漁業には、漁船非使用漁業を含む。

※平成19年調査より稼働量調査が一部漁業に限定されたため、都道府県別の部門別生産量の把握はなし。

※令和元年調査より振興局別及び大海区別養殖魚種別収獲量の公表が廃止された。

(2) 主要海面漁業・養殖業種類別生産量

(単位：t)

年次	H23	24	25	26	27	28	29	30	R1	2
漁業種類										
合計	30,231	26,445	25,391	25,000	25,746	24,692	21,462	17,918	16,808	16,368
海面漁業計	28,361	24,896	23,638	22,356	22,901	22,170	18,801	15,197	13,752	13,065
小型底びき網	2,747	2,894	2,520	2,707	2,543	2,482	2,321	2,278	2,063	1,710
船びき網	2,931	2,882	2,449	2,342	1,810	3,159	2,281	1,596	2,075	1,614
中・小型まき網	13,276	9,772	9,991	9,474	11,672	9,994	8,187	6,149	4,134	3,917
刺網	441	425	395	445	378	387	326	299	294	262
敷網	73	13	70	χ	χ	χ	χ	χ	χ	-
大型定置網	2,762	2,623	2,688	2,840	2,567	2,768	2,404	1,938	1,677	2,144
小型定置網	852	757	639	χ	640	651	519	386	430	536
その他の網漁業	979	943	750	786	734	415	337	359	285	264
近海まぐろはえ縄	101	65	55	229	244	304	252	294	252	319
沿岸まぐろはえ縄	770	728	625	296	221	χ	31	38	13	13
その他のはえ縄	175	176	171	154	χ	197	218	216	259	175
沿岸かつお一本釣	395	270	350	187	61	χ	χ	χ	χ	282
沿岸いか釣	102	82	52	35	16	16	27	28	6	31
ひき縄釣	880	1,735	1,196	402	422	489	480	314	1,040	937
その他の釣	818	726	619	604	618	586	540	436	467	370
採貝・採藻	748	452	764	797	533	418	582	631	624	492
その他の漁業	312	354	305	241	233	207	202	155		
海面養殖業計	1,871	1,549	1,753	2,644	2,845	2,522	2,661	2,721	3,056	3,303
ぶり類	108	42	44	51	59	43	41	51	χ	43
しまあじ	37	32	38	41	36	42	69	67	36	33
まだい	1,221	1,175	1,257	1,496	1,561	1,527	1,492	1,599	1,782	1,867
くろまぐろ	...	89	203	867	1,045	796	945	869	1,080	1,252
その他の魚類	356	45	50	48	49	40	36	41	24	22
貝類	43	44	30	22	13	10	7	χ	15	10
くるまえび	χ	χ	χ	χ	χ	χ	χ	χ	χ	χ
海藻類	χ	χ	χ	χ	χ	χ	χ	71	χ	χ

※令和元年調査より「採貝・採藻」、「その他の漁業」が統合され、「その他の漁業」となった。

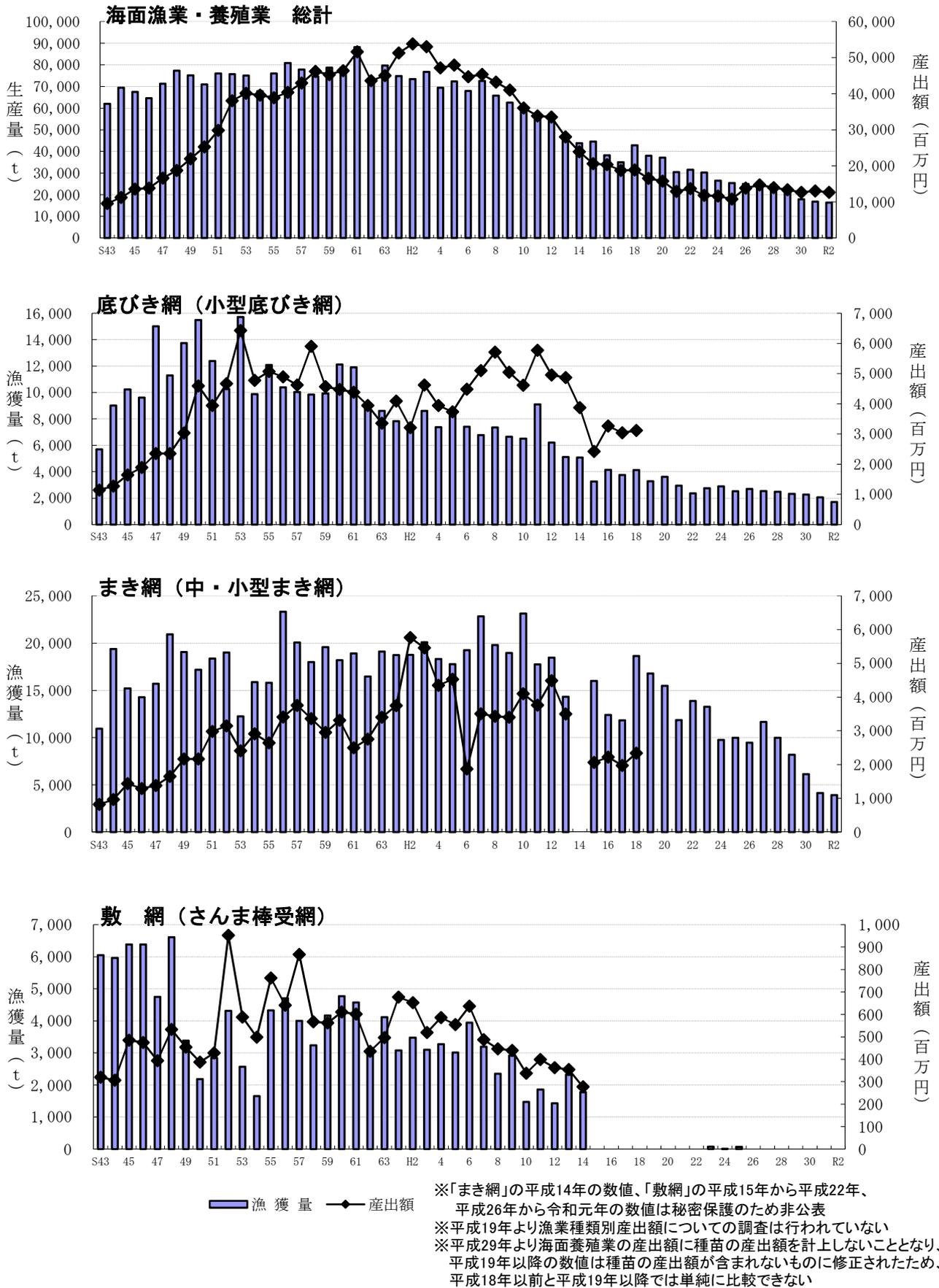
(3) 海面漁業魚種別漁獲量

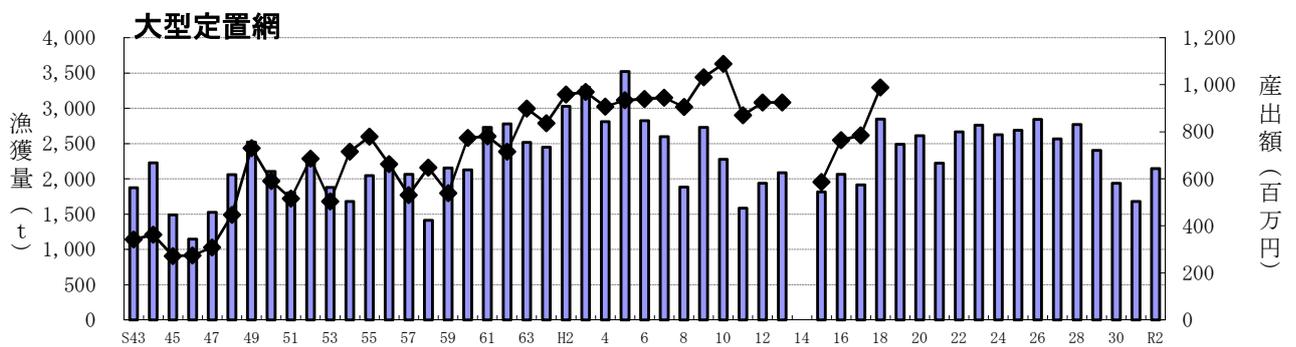
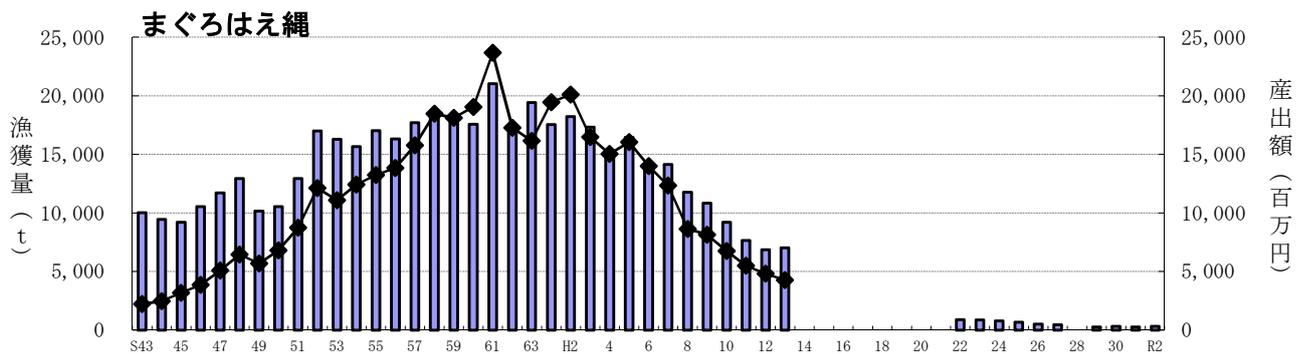
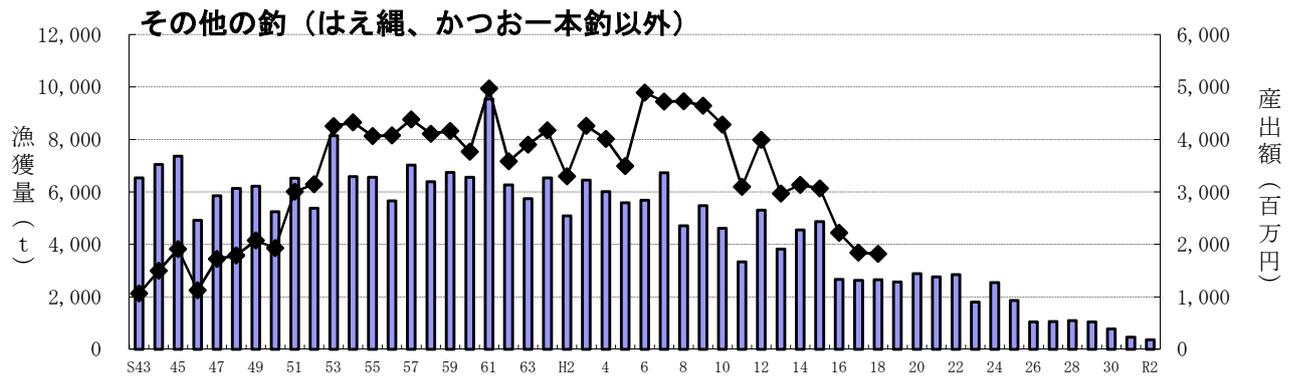
(単位：t)

魚種	年次	H23	24	25	26	27	28	29	30	R1	2
魚	くろまぐろ	60	94	203	51	20	39	38	11	χ	61
	みなみまぐろ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	びんなが	663	701	463	340	349	183	209	208	480	695
	めばち	χ	79	49	68	23	χ	21	35	χ	37
	きはだ	432	284	249	162	164	χ	130	139	197	214
	その他のまぐろ類	χ	0	0	-	-	-	-	-	0	-
	まかじき	22	30	30	19	11	14	15	9	19	15
	めかじき	12	10	9	χ	χ	χ	χ	χ	2	2
	くろかじき	32	15	31	χ	χ	χ	χ	χ	9	10
	その他のかじき類	1	1	1	2	0	2	1	1	0	1
	かつお	715	1,475	1,158	375	313	450	462	336	692	520
	そうだがつお類	186	711	369	272	168	217	134	66	95	103
	さめ類	97	73	78	69	113	61	30	36	29	51
	このしろ	0	1	0	0	0	χ	χ	χ	0	1
	まいわし	1,319	720	932	1,899	1,839	2,107	516	294	161	365
	うるめいわし	971	1,307	1,966	1,568	2,103	1,337	1,238	386	112	108
	かたくちいわし	347	231	194	224	323	259	109	25	33	21
	しらすじ	1,925	2,794	2,408	2,327	1,794	3,162	2,277	1,597	2,075	1,611
	まあじ類	2,017	1,118	1,446	1,525	1,390	1,134	2,703	1,487	1,291	1,204
	むろあじ類	3,536	2,530	2,429	2,181	2,296	3,239	1,420	922	1,083	604
類	さば類	7,517	5,938	4,984	4,012	5,395	3,467	3,768	4,239	2,447	3,049
	さんま類	180	128	120	132	44	χ	3	χ	3	0
	ぶり類	966	762	825	876	1,055	1,086	997	1,028	826	905
	ひらめ	45	29	30	42	28	29	32	37	37	32
	かれい類	65	73	67	76	65	61	32	18	27	22
	にぎす類	11	29	-	-	-	-	-	-	-	-
	あなご類	7	5	5	7	4	χ	χ	χ	1	0
	たちうおい	1,107	1,106	966	1,065	728	990	685	703	685	467
	まちだいい	311	269	199	287	306	251	279	210	278	303
	きだいい	} 116	} 132	} 125	} 157	} 201	} 145	} 154	} 177	131	χ
	くろだいい	} 74	} 66	} 52	} 56	} 68	} 51	} 72	} 82	70	χ
	へだいい	} 74	} 66	} 52	} 56	} 68	} 51	} 72	} 82	73	65
いさき	229	208	196	186	207	215	165	144	153	170	
さわら類	121	145	156	249	292	338	140	141	131	246	
すずき類	34	40	21	31	21	8	20	19	21	27	
いか類	530	17	-	0	0	-	-	0	-	-	
あまだいら類	3	3	3	4	5	5	4	3	3	8	
ふぐ類	97	133	115	145	148	117	102	99	164	90	
その他の魚類	2,113	1,809	1,787	2,216	2,033	1,758	1,715	1,480	1,298	1,039	
計	25,956	23,066	21,666	20,648	21,523	20,918	17,481	13,947	12,712	12,180	
その他の水産動物	いせえび	166	169	161	170	166	147	125	125	139	130
	くるまえび	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0
	その他のえび類	157	221	162	91	75	104	88	67	44	34
	がざみ類	1	2	2	2	2	3	3	1	2	1
	その他のかに類	4	5	5	5	4	2	3	4	2	2
	するめいか	238	228	229	180	84	60	54	71	24	45
	その他のいか類	765	387	325	211	249	294	249	183	184	169
	たこ類	64	44	62	45	35	32	29	38	34	27
うなぎ類	10	13	12	12	11	15	9	6	4	5	
なまこ類	} 54	} 45	} 37	} 37	} χ	} 27	} 24	} 22	24	19	
その他の水産動物類	} 54	} 45	} 37	} 37	} χ	} 27	} 24	} 22	0	0	
計	1,462	1,115	996	753	χ	684	583	517	457	432	
海産ほ乳類	201	265	215	162	χ	145	150	102	170	131	
貝類	あわび類	13	11	12	12	10	10	10	9	7	5
	さざえ	16	20	33	25	18	24	16	15	18	8
	あさり類	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の貝類	63	29	40	55	38	58	46	34	31	26	
計	91	61	85	92	65	92	72	58	56	40	
海藻類	652	389	676	703	471	332	513	573	355	283	
合計	28,361	24,896	23,638	22,356	22,901	22,170	18,801	15,197	13,752	13,065	

※令和元年調査より「ちだい・きだい」が細分化され、「ちだい」、「きだい」となった。
 ※令和元年調査より「くろだいい・へだいい」が細分化され、「くろだいい」、「へだいい」となった。
 ※その他の魚類は、めめけ類、にべぐち類、えそ類、いぼだいい、はも、えい類、しいら類、とびうお類、ぼら類を含む。
 ※令和元年調査より「その他の水産動物類」から、「なまこ類」が分離された。
 ※海藻類は、ひじき、わかめ類、てんぐさ類を含む。

ア 主な漁業種類別漁獲量・産出額の推移





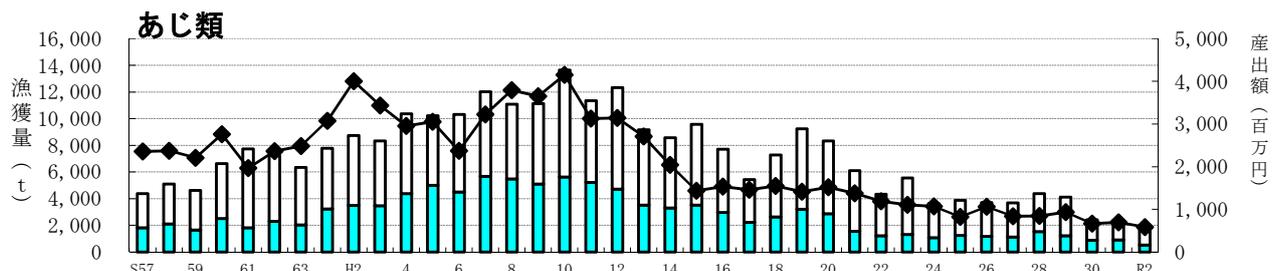
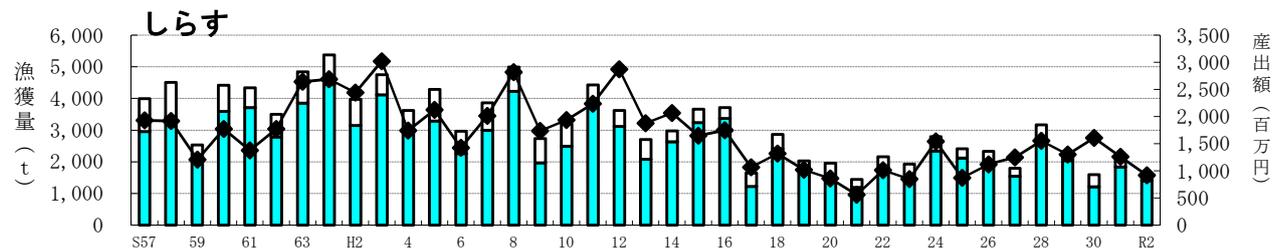
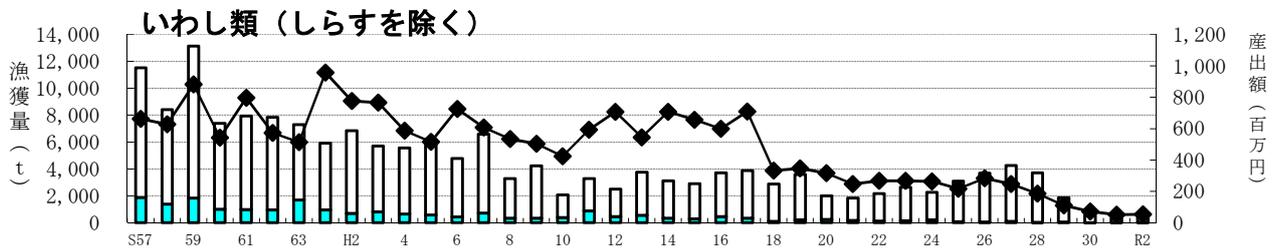
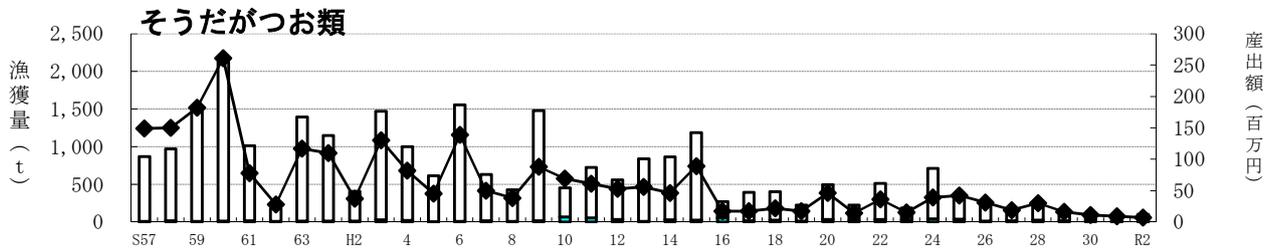
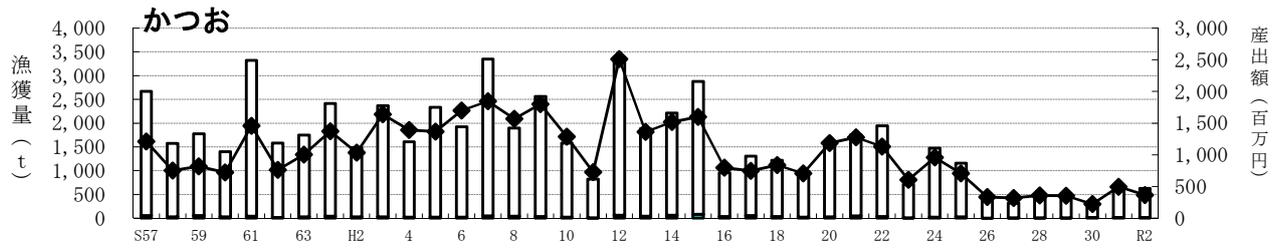
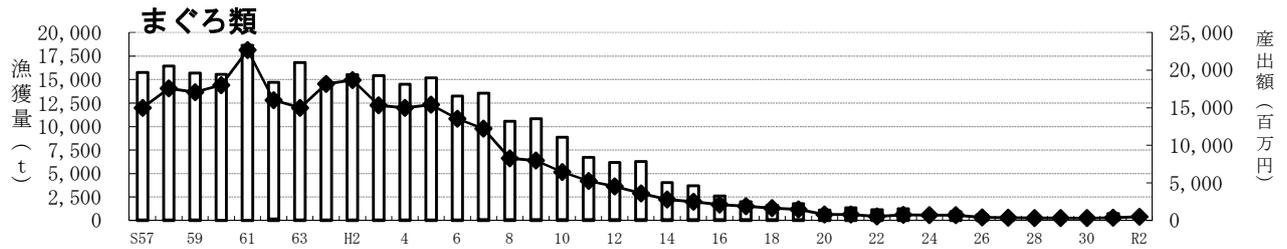
■ 漁獲量 ◆ 産出額

※「まぐろはえ縄」の平成14年から平成21年、平成28年の数値、「大型定置網」の平成14年の数値は秘密保護のため非公表

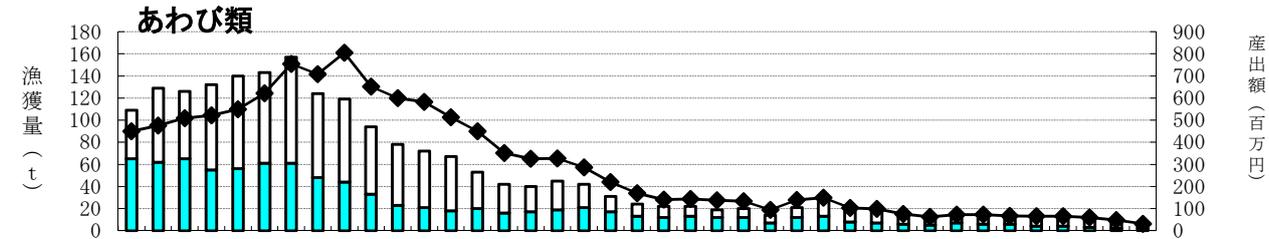
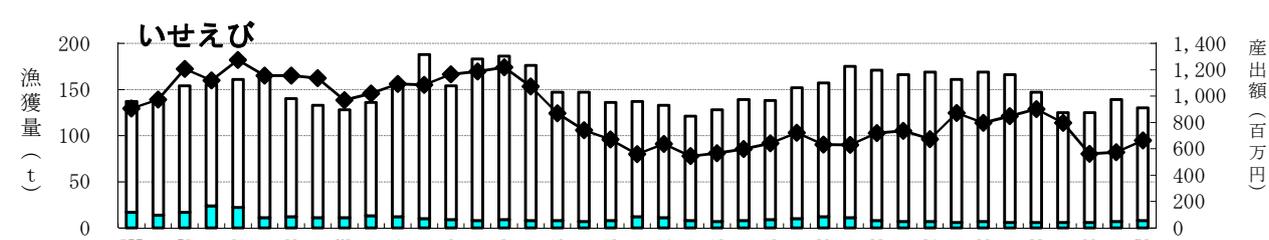
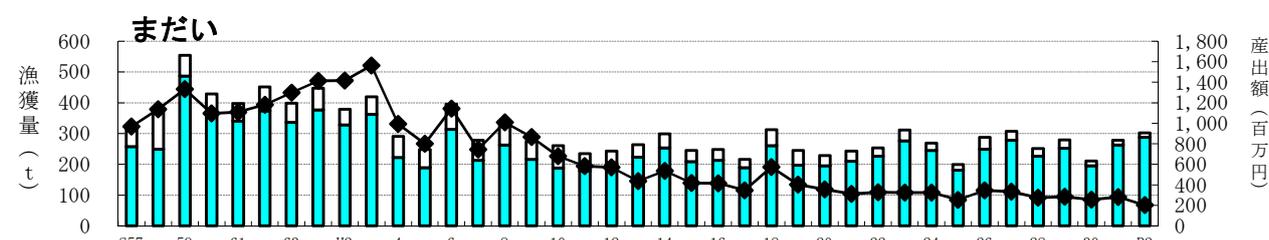
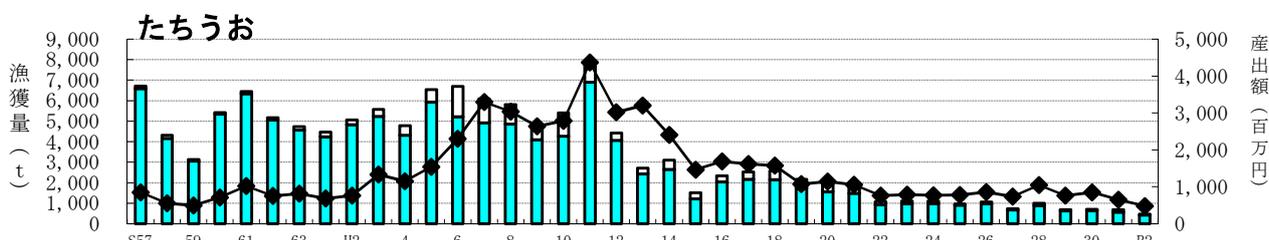
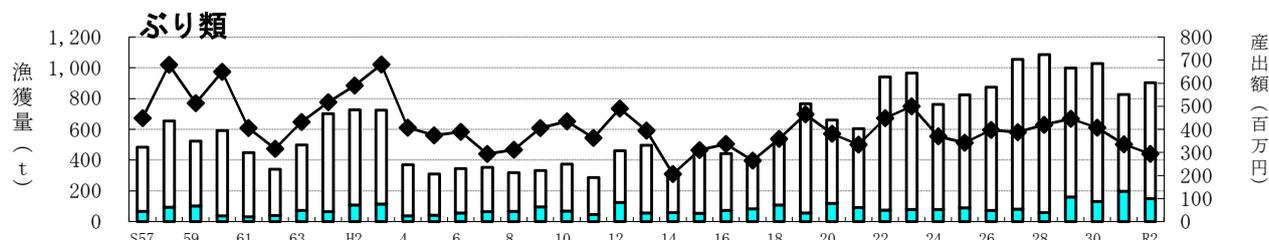
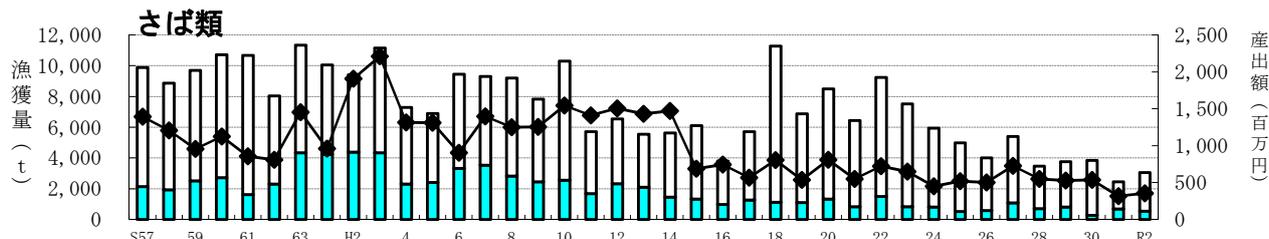
※「船びき網」は平成14年以降「ひき寄せ船びき網」については非公表のため、「ひき回し船びき網」のみの数値

※平成19年より漁業種別産出額についての調査は行われていない

イ 主な魚種別漁獲量・産出額の推移



■ 瀬戸内海区
 太平洋南区
 ◆ 産出額



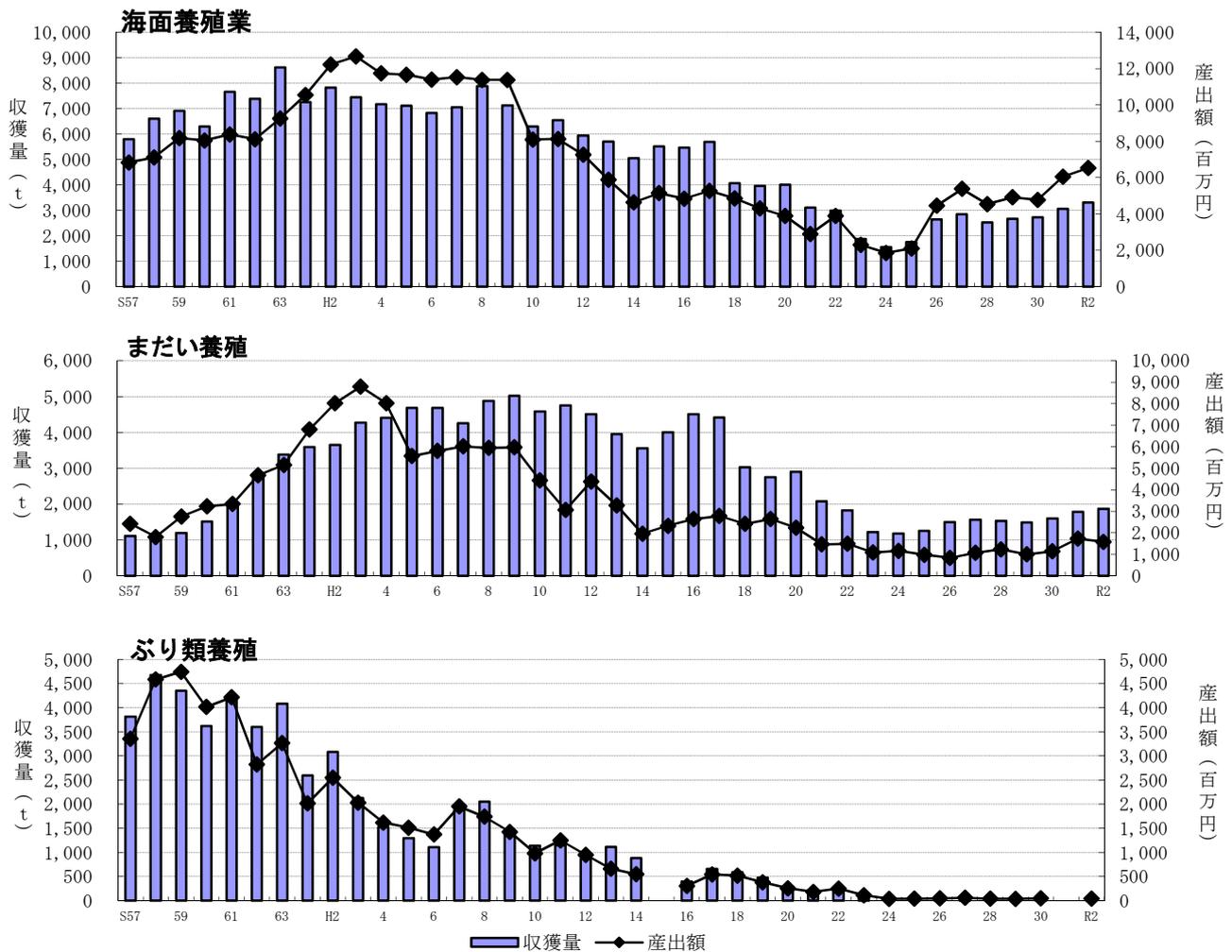
■ 瀬戸内海区 □ 太平洋南区 ◆ 産出額

(4) 海面養殖業収獲量

(経営体数：実数、収獲量：t)

年次区分 魚種	H23		24		25		26		27		28		29		30		R1		2	
	経営体	収獲量																		
ぶり類	...	108	...	42	3	44	...	51	...	59	...	43	...	41	4	51	...	χ	...	43
しまあじ	...	37	...	32	...	38	...	41	...	36	...	42	...	69	...	67	...	36	...	33
まだい	...	1,221	...	1,175	12	1,257	...	1,496	...	1,561	...	1,527	...	1,492	13	1,599	...	1,782	...	1,867
くろまぐろ	89	5	203	...	867	...	1,045	...	796	...	945	6	869	...	1,080	...	1,252
その他の魚類	...	356	...	45	5	50	...	48	...	49	...	40	...	36	5	41	...	24	...	22
貝類	...	43	...	44	9	30	...	22	...	13	...	10	...	7	6	χ	...	15	...	10
くるまえばい	...	χ	...	χ	1	χ	...	χ	...	χ	...	χ	...	χ	1	χ	...	χ	...	χ
のり類	...	χ	...	-	-	χ	...	-	...	-	...	-	...	-	-	-	...	-	...	-
わかめ類	...	χ	...	χ	26	χ	...	χ	...	χ	...	χ	...	χ	22	χ	...	69	...	66
真珠	...	-	...	-	-	-	...	-	...	-	...	-	...	-	-	-	...	-	...	-
合計		1,871		1,549		1,753		2,644		2,845		2,522		2,661		2,721		3,056		3,303

注：海面養殖業経営体数については、5年に1回の漁業センサス年のみ調査、公表されている。
※「営んだ漁業種類別経営体数」の数値を掲載



※「まだい養殖」の産出額については平成5年以降、種苗養殖を除いた数値である
※「ぶり類養殖」の平成15年、令和元年の数値は秘密保護のため非公表

※平成29年より海面養殖業の産出額に種苗の産出額を計上しないこととなり、平成19年以降の数値は種苗の産出額が含まれないものに修正されたため、平成18年以前と平成19年以降では単純に比較できない

(5) 内水面漁業・養殖業生産量 (令和2年)

内水面漁業・養殖業生産量は、前年に比べ51トン(8%)増加して655トンとなった。

内水面漁業漁獲量は、1トン(13%)減少して7トンとなった。

内水面養殖業収獲量は、52トン(9%)増加して648トンとなった。

内訳は養殖あゆが46トン(8%)増加し、630トンとなっている。

ア 内水面漁業漁獲量

(単位：t)

年次・水系	漁獲量								
	計	あゆ	こい	ふな	うなぎ	その他魚類	貝類	その他の水産動植物類	藻類
全国 R2	21,745	2,084	162	396	66	9,780	8,899	358	...
和歌山 H23	6	5	-	-	0	0	-	1	...
24	6	4	-	-	0	0	-	1	...
25	5	4	-	-	0	0	-	1	...
26	6	5	-	-	0	0	-	1	...
27	7	5	-	-	0	0	-	1	...
28	4	4	-	-	0	0	-	0	...
29	7	6	-	-	0	0	-	1	...
30	9	7	-	-	0	0	-	2	...
R1	8	6	-	-	0	0	-	2	...
2	7	5	-	-	0	0	-	2	...
紀の川	2	2	-	-	-	0	-	-	...
有田川	4	3	-	-	-	-	-	2	...
日高川	1	1	-	-	-	-	-	0	...
熊野川	1	1	-	-	0	-	-	-	...

注1: 主要4河川の漁獲量である。

注2: 平成18年調査より、内水面漁業の調査範囲を、主要4河川において、販売を目的として漁獲された量のみとした。遊漁者(レクリエーションを主な目的として水産動植物を採捕するもの)による採捕量は含まれない。

イ 内水面養殖業収獲量

(経営体数：実数、収獲量：t)

年次区分 魚種	H23		24		25		26		27		28		29		30		R1		2	
	経営体	収獲量	経営体	収獲量	経営体	収獲量	経営体	収獲量	経営体	収獲量	経営体	収獲量	経営体	収獲量	経営体	収獲量	経営体	収獲量	経営体	収獲量
あゆ	...	1,056	...	948	10	966	...	992	...	984	...	1,039	...	1,034	9	788	...	584	...	630
ます類	...	χ	...	χ	4	χ	...	χ	...	χ	...	χ	...	χ	5	χ	...	χ	...	7
うなぎ	...	χ	...	χ	1	χ	...	χ	...	χ	...	χ	...	χ	2	χ	...	χ	...	χ
その他の養殖	2
合計		1,068		958		976		1,004		991		1,054		1,045		799		596		648

注：内水面養殖業経営体については、5年に1回の漁業センサス年のみ調査、公表されている。

※「営んだ養殖種類別経営体数」の数値を掲載



海産稚あゆの受け渡し(日高町)

(6) 漁業産出額

魚種別産出額

区 分	合計	海面漁業計	魚 類					
			計	ま ぐ ろ 類				
				計	くろまぐろ	みなみまぐろ	びんなが	めばち
全国 R 2	12,103	7,735	5,486	1,169	219	105	199	312
和歌山 H 23	11,801	9,492	7,633	752	105	-	241	χ
24	11,624	9,760	8,117	726	125	-	243	116
25	10,779	8,674	6,759	722	286	-	160	64
26	13,810	9,352	7,021	438	76	-	150	75
27	14,733	9,351	6,999	372	59	-	146	30
28	13,960	9,416	7,381	359	92	-	107	χ
29	13,380	8,462	6,445	362	119	-	102	30
30	12,688	7,909	6,226	326	42	-	134	43
R 1	13,049	6,999	5,625	387	χ	-	173	χ
和歌山 2	12,693	6,164	4,769	514	74	-	229	46
瀬戸内海区	2,753	2,690	2,377	χ	16	-	35	χ
太平洋南区	9,940	3,474	2,392	χ	57	-	194	χ

区 分	魚 類							
	さめ類	このしろ	い わ し 類					あじ類
			計	まいわし	うるめいわし	かたくちいわし	しらす	
全国 R 2	31	5	715	312	33	121	249	266
和歌山 H 23	20	0	1,113	160	93	13	846	1,109
24	15	0	1,807	146	100	18	1,544	1,070
25	16	0	1,086	77	126	14	869	823
26	16	0	1,399	133	137	13	1,116	1,062
27	23	0	1,493	102	123	20	1,247	834
28	13	χ	1,740	80	92	13	1,555	843
29	7	χ	1,412	28	71	11	1,302	935
30	5	χ	1,676	21	45	5	1,605	665
R 1	3	0	1,308	18	31	2	1,257	697
和歌山 2	3	0	973	22	29	3	919	585
瀬戸内海区	3	0	764	10	-	2	752	214
太平洋南区	0	0	209	12	29	1	168	371



まぐろ



しらす

単位 { 全国： 億円
和歌山：100万円

魚 類										区分
まぐろ類		かじき類					かつお類			
きはだ	その他のまぐろ類	計	まかじき	めかじき	くろかじき類	その他のかじき類	計	かつお	そうだがつお類	
330	4	77	10	57	7	3	462	452	10	全国 2020
286	χ	37	15	10	12	0	619	604	15	2011
242	0	34	19	8	7	0	999	960	39	2012
212	0	34	16	7	11	0	746	704	42	2013
137	-	35	15	χ	χ	0	365	334	31	2014
137	-	14	6	χ	χ	0	338	319	19	2015
χ	-	χ	11	χ	χ	0	391	360	30	2016
111	-	20	12	χ	χ	0	371	354	16	2017
107	-	13	7	χ	χ	0	231	220	11	2018
132	0	17	10	2	5	0	502	493	9	2019
166	-	14	7	2	5	0	369	362	7	2020
25	-	5	2	χ	χ	χ	7	6	1	瀬戸内海区
141	-	10	5	χ	χ	χ	362	356	6	太平洋南区

魚 類										区分
あじ類		さば類	さんま	ぶり類	ひらめ	かれい類	にぎす類	あなご類	たちうお	
まあじ	むろあじ類									
248	18	396	143	233	58	139	6	23	39	全国 2020
500	609	647	29	500	76	105	4	8	788	2011
594	477	449	26	370	57	101	7	6	769	2012
449	374	521	16	342	53	114	-	5	776	2013
634	428	502	24	397	69	94	-	7	859	2014
435	399	727	8	388	50	86	-	4	738	2015
364	479	551	χ	420	56	78	-	χ	1,049	2016
704	231	529	2	446	56	43	-	χ	764	2017
471	194	536	χ	407	71	21	-	χ	847	2018
439	258	317	2	335	55	44	-	1	647	2019
430	155	354	0	294	43	35	-	1	479	2020
153	60	82	-	31	16	34	-	1	446	瀬戸内海区
277	95	273	0	263	27	0	-	-	33	太平洋南区



かつお



たちうお

魚種別産出額（つづき）

区 分	魚 類										
	計	た い 類 ^{※1}					いさき	さわら類	すずき類	いかなご	あまだい類
		まだい	ちだい	きだい	くろだ い	へだい					
全国 R 2	120	92	7	12	8	1	23	88	28	14	22
和歌山 H 23	396	324	49		24		172	95	16	182	8
24	404	325	59		21		149	153	15	8	10
25	320	251	54		15		154	149	11	-	12
26	431	345	57		29		154	213	14	0	11
27	428	334	77		18		160	302	10	0	19
28	349	275	57		17		167	291	8	-	16
29	359	282	60		17		140	131	10	-	16
30	339	255	58		25		114	157	9	0	19
R 1	368	281	38	24	18	7	120	129	9	-	12
和歌山 2	248	202	χ	χ	10	4	115	180	9	-	31
瀬戸内海区	233	192	22	8	10	2	58	46	5	-	χ
太平洋南区	15	11	χ	χ	0	2	57	134	4	-	χ

区 分	貝 類				い か 類			たご類	うに類
	あわび類	さざえ	あさり類	その他の貝類	計	するめいか	その他の いか類 ^{※4}		
全国 R 2	53	27	25	501	518	286	232	186	104
和歌山 H 23	76	13	0	128	391	59	332	55	12
24	63	15	0	66	331	59	273	44	10
25	73	24	-	90	313	55	257	59	7
26	72	15	-	109	240	48	192	52	7
27	67	14	-	84	263	24	239	43	9
28	65	18	-	113	288	27	261	37	9
29	66	13	-	98	275	30	245	39	13
30	60	13	-	74	194	38	156	46	19
R 1	48	14	-	62	198	16	182	42	5
和歌山 2	31	6	-	57	195	32	163	23	5
瀬戸内海区	11	2	-	2	139	1	137	19	3
太平洋南区	20	4	-	55	56	31	25	4	2



まだい



いさき

単位 { 全国：億円
和歌山：100万円

魚 類		え び 類				か に 類			貝類	区分
ふぐ類	その他の魚類 ^{**2}	計	いせえび	くるま えび	その他の えび類	計	がざみ類	その他 かに類	計	
20	1,409 ^{**3}	174	43	12	119	296	22	274	606	全国 2020
66	891	891	737	4	150	7	1	6	216	2011
61	881	884	673	4	206	9	2	7	144	2012
49	809	1,073	872	7	195	7	2	6	186	2013
50	882	999	797	3	200	5	1	4	196	2014
58	946	986	847	2	137	7	3	4	164	2015
48	978	1,024	900	2	122	6	3	3	195	2016
46	794	910	797	1	113	6	3	3	177	2017
39	748	651	562	1	88	5	2	3	147	2018
37	634	671	575	0	96	8	5	2	124	2019
23	497	713	664	0	49	6	4	2	94	2020
11	310	75	37	χ	χ	4	4	0	16	瀬戸内海区
12	187	638	627	χ	χ	2	1	2	79	太平洋南区

海産 ほ乳類	なまこ類 ^{**6}	その他の 水産動物 ^{**6}	海藻類 ^{**8}	海 面 養 殖 ^{**9}						区分
				計	ぶり類	しまあじ	まだい	くろまぐろ	その他の 海面養殖	
2 ^{**5}	131	41 ^{**7}	191	4,368	1,065	63	443	482	2,315	全国 2020
46	27		213	2,309	115	60	1,078	...	1,056	2011
82	20		118	1,864	40	54	1,158	326	286	2012
62	18		189	2,105	42	66	975	767	255	2013
75	548		208	4,458	49	71	831	3,277	230	2014
χ	χ		148	5,382	60	60	1,070	3,951	241	2015
69	216		190	4,544	42	73	1,228	3,010	191	2016
64	204		330	4,918	39	120	992	3,571	196	2017
35	323		262	4,779	49	115	1,133	3,286	196	2018
40	15	149	121	6,050	χ	63	1,731	4,081	χ	2019
29	14	229	87	6,529	43	54	1,580	4,731	121	2020
-	11	5	42	瀬戸内海区
29	2	224	44	太平洋南区



いせえび

- ※1 令和元年調査より「ちだい・きだい」が細分化され、「ちだい」、「きだい」に、「くろだい・へだい」が細分化され、「くろだい」、「へだい」となった。
- ※2 その他の魚類には、めめけ類、にべぐち類、えそ類、いぼだい、はも、えい類、しいら類、とびうお類、ぼら類を含む。
- ※3 全国のその他魚類は、たら類、ほっけ、きちじ、はたはたを含む。
- ※4 その他のいか類は、こういか類を含む。
- ※5 全国の海産ほ乳類は、捕鯨業を含む。
- ※6 令和元年調査より「その他の水産動物類」から、「なまこ類」が分離された。
- ※7 全国のその他水産動物類は、おきあみ類を含む。
- ※8 海藻類は、ひじき、わかめ類、てんぐさを含む。
- ※9 令和元年調査より振興局別及び大海区別の公表が廃止された。

4 水産加工

平成30年の水産加工実経営体数は138経営体で、前回調査(平成25年(2013年漁業センサス))に比べて、19経営体(12%)減少した。

令和2年の水産加工品の生産量について、煮干し品のうち「しらす干し」の生産量は3,257トンで全国(主産県)順位4位(シェア11%)、塩干品のうち「さんま」の生産量は741トンで全国(主産県)順位3位(シェア9%)となった。



しらすの加工(有田市)



あかもくの加工(由良町)

(1) 水産加工品目別経営体数

年次 品目	H10	11	12	13	14	15	16	17	20	25	30
実経営体数	218	213	208	204	201	197	188	184	175	157	138
ねり製品 (かまぼこ類)	42	39	38	34	33	35	34	33	30	23	19
生鮮冷凍水産物	17	16	12	12	18	25	17	16	16	4	3
冷凍食品	4	3	3	3	4	10	6	6	5	4	3
素干し品	12	14	13	13	13	31	17	18	13	2	3
塩干品	75	74	70	69	68	82	72	70	61	38	29
煮干し品	77	76	75	73	71	68	63	63	50	42	40
塩蔵品	4	3	4	3	4	18	4	4	5	1	-
節製品	45	45	42	44	43	33	30	29	28	17	14
その他の 水産加工品	38 +χ	43 +χ	40 +χ	43	41	40	49	54	47	22	23
焼・味付けのり	5	4	5	5	5	5	5	5	4	4	4

加工種類別経営体数はのべ経営体数

※平成18年より水産加工品目別経営体数については、調査対象から除外された。

※平成20年以降は、「漁業センサス」流通加工業における主とする加工種類別工場数より

(2) 水産加工品目別生産量

単位：t

年次	※1 合計	ねり製品	生 鮮 冷 凍 水 産 物					
		計	計	まぐろ類	かつお類	いわし類	まあじ・ むろあじ類	さば類
全 国 R 2	2,547,954	473,292	1,111,074	28,244	14,460	387,625	38,021	268,078
和歌山 H23	18,187	2,364	2,429	481	×	×	338	386
24	17,081	1,565	3,849	1,809	×	×	84	417
25	15,230	1,803	1,357	643	×	×	24	×
26	15,424	1,803	1,146	671	×	×	7	124
27	15,583	1,760	1,624	1,083	×	×	3	117
28	15,892	1,726	1,365	691	×	×	9	113
29	15,368	1,734	1,800	930	×	7	×	126
30	18,662	1,779	724	158	—	×	×	×
R 1	15,917	1,318	499	121	×	×	×	×
2	…	…	…	…	…	…	…	…

年次	生 鮮 冷 凍 水 産 物 (つづき)				冷 凍 食 品			素干し品
	さ ん ま い か 類	そ の 他 の 魚 類 ・ 水 産 動 物 類	す り 身	計	魚 介 類	そ の 他	計	
全 国 R 2	21,457	15,330	283,490	54,369	229,581	126,538	103,043	6,458
和歌山 H23	10	×	×	—	1,235	446	789	59
24	20	273	×	—	977	459	518	46
25	×	184	187	—	1,088	766	322	53
26	8	198	98	—	1,147	818	329	69
27	—	187	225	×	989	614	375	52
28	×	191	×	—	1,037	663	374	33
29	×	182	×	—	×	×	430	30
30	×	×	×	—	1,369	820	549	28
R 1	—	×	×	—	1,351	855	496	24
2	…	…	…	…	…	…	…	…

年次	素 干 し 品			塩 干 品				
	す る め い か	い わ し	そ の 他	計	い わ し	あ じ	さ ん ま	さ ば
全 国 R 2	2,362	691	3,405	120,775	8,585	24,327	8,573	17,070
和歌山 H23	59	×	×	2,492	471	479	1,032	56
24	×	×	×	1,996	175	536	943	×
25	48	×	×	2,168	233	518	1,045	52
26	64	×	×	2,110	196	542	1,024	51
27	47	×	×	2,085	189	573	992	66
28	29	×	×	1,928	155	514	948	63
29	27	×	×	1,816	127	503	894	65
30	26	×	×	1,544	114	406	791	62
R 1	22	×	×	1,513	123	385	753	60
2	…	…	…	…	…	…	741	…



塩干品・煮干し品

- ※1 「焼・味付のり」を除く。
 全国値については、食用加工品と生鮮冷凍水産物の生産量の合計である。
 和歌山県の数値については、平成21年、平成25年から令和元年のくん製品、平成21年のねり製品、平成25年の塩蔵品、平成29年の冷凍食品を除く。
 令和2年調査より主産県調査となったことから、主産県以外の都道府県の生産量は「…」となっている。
- ※2 平成30年数値より、「その他の食用加工品」の品目は、いか塩辛、水産物漬物、こんぶつくだ煮、乾燥・焙焼・揚げ加工品（いか製品）、その他となった。

単位：t

年次	塩干品(つづき)		煮 干 し 品				塩 蔵 品	
	そ の 他	計	い わ し	しらす干し	いかなご・ こうなご	そ の 他	計	い わ し
全 国 R 2	62,220	52,817	17,810	30,859	289	3,859	156,386	859
和歌山 H23	454	4,182	×	3,670	×	—	360	—
24	×	3,627	×	3,352	×	—	402	—
25	320	3,613	5	3,595	5	9	×	×
26	297	3,599	8	3,579	4	8	423	×
27	265	3,556	7	3,541	2	6	371	—
28	248	3,917	8	3,902	1	6	332	—
29	227	4,042	7	4,027	1	7	305	—
30	×	3,892	×	3,878	4	×	283	×
R 1	×	3,693	×	3,644	3	×	281	—
2	…	…	…	3,257	…	…	…	…

年次	塩 蔵 品 (つづき)			節 製 品				
	さ ば	さんま	そ の 他	計	かつお節	か っ っ っ な ま り 節	さ ば 節	そ の 他 の 類
全 国 R 2	36,256	1,631	117,640	71,801	27,055	1,098	10,162	8,653
和歌山 H23	×	×	×	2,578	×	×	1,708	798
24	×	—	×	2,223	×	×	1,334	859
25	×	—	×	2,211	44	43	1,390	661
26	×	—	×	2,212	36	40	1,390	671
27	×	—	×	1,964	35	28	1,251	587
28	×	—	×	1,785	34	22	1,153	513
29	×	—	×	1,359	×	21	850	×
30	×	—	×	1,743	37	38	980	622
R 1	×	—	11	394	—	32	—	326
2	…	…	…	…	…	…	…	…

年次	節製品(つづき)		そ の 他 の 食 用 加 工 品※2		く ん 製 品	焼・味付のり (千 枚)
	け ず り 節	計	水 産 物 つ ぐ だ 煮	そ の 他		
全 国 R 2	24,833	318,847	×	×	6,923	6,013,442
和歌山 H23	—	2,458	52	2,406	30	21,347
24	—	2,367	54	2,313	29	20,830
25	73	2,937	43	2,894	×	18,563
26	75	2,915	45	2,870	×	17,124
27	63	3,182	58	3,124	×	15,488
28	63	3,769	50	3,719	×	15,531
29	59	4,282	54	4,228	×	15,964
30	66	7,300	×	7,289	×	16,450
R 1	36	6,844	×	6,836	×	16,537
2	…	…	…	6,233	…	…



しらす干し



まぐろの缶詰

II 漁業振興施策

漁業振興施策

漁業経営の安定・合理化、漁村環境の整備を推進するため、令和3年度に実施した主要な事業は下記のとおりである。

(1) 磯根漁場再生事業

あわび、ひじき等の磯根漁業の回復を図るため、藻場造成等を4町において合計事業費828万円で実施した。

(2) 漁業経営構造改善事業

文化的景観施設整備事業を1町において10億7,241万円(次年度繰越)で実施した。

(3) 水産基盤整備事業(漁場整備)

養殖くろまぐろの増産を目的とした浮消波堤整備事業を1地区において1億5,648万円(うち1億4,622万円次年度繰越)で、沿岸漁場の生産力回復を図る堆積物除去事業を1地区(2市)において959万円で、魚礁設置事業を1地区(1市)において2,062万円で実施した。

(4) 水産基盤整備事業等(漁港整備)

漁港の機能強化、漁村の環境整備を推進するため、漁港整備関係事業を合計事業費29億829万円で実施した。

(5) 栽培漁業推進事業等

主要水産資源の増殖を図るため、ひらめ20.2万尾、いさき5.2万尾、くえ4.0万尾、あわび類22.6万個を沿岸各地に種苗放流した。

(6) 内水面漁業振興対策事業

内水面漁業の振興を図るため、あゆ40.9トン、あまご60.2万尾の種苗放流を実施するとともに、主要資源であるあゆの自然増殖を促進する産卵場造成事業を実施した。

(7) 金融対策事業

漁業者の設備投資や経営改善を円滑に推進するため、漁業近代化資金について24件、融資金額6億2,939万円に対する利子補給を承認し、沿岸漁業改善資金については、1件、467万円を貸し付けた。

(1) 磯根漁場再生事業

令和3年度磯根漁場再生事業

事業主体	事業内容	事業実施主体	工種	事業費 (千円)
白浜町	くろめ・ひろめ場の造成	白浜町	母藻移植	686
	ひじき場の造成	白浜町	母藻移植	402
串本町	てんぐさ場の造成	串本町	母藻移植等	3,100
	てんぐさ場の造成	串本町	母藻移植	1,800
	ひじき場の造成	串本町	磯掃除	450
那智勝浦町	かじめ場の造成	那智勝浦町 水産振興会	海藻種苗設置	1,500
太地町	ひろめ場の造成	太地町	海藻種苗設置	344
合計				8,282



ひじき場の造成(磯掃除)



かじめ場の造成(母藻移植)



ひじき場の造成(磯掃除後の生育調査)



かじめ場の造成(移植後の生育調査)

(2) 漁業経営構造改善事業

令和3年度水産業強化支援事業等

事業名	事業主体	事業内容	事業費 (千円)
水産業強化支援事業	太地町	文化的景観施設整備	1,072,407 (次年度繰越)
合計			1,072,407

(3) 水産基盤整備事業（漁場整備）

令和3年度水産環境整備事業等

事業名	工種	地区名	事業主体	事業内容	事業費 (千円)
水産環境整備事業	浮消波堤製作	和歌山うらみ (串本町)	県	浮消波堤製作1基	156,482 (一部次年度繰越)
水産物供給基盤整備事業	沈設魚礁設置	和歌山	和歌山市	魚礁製作沈設27基	20,620
水域環境保全 創造事業	堆積物除去	和歌山北部	和歌山市	掃海 4.3km ²	4,794
				掃海 4.9km ²	4,794
合計					186,690



堆積物除去



コンクリート魚礁

漁場整備事業実施状況

区 分	事 業 名	件数	事業費(千円)	備 考
第1次沿整 (S51~56)	並型魚礁設置事業	29	180,600	
	大型魚礁設置事業	4	118,090	
	人工礁漁場造成事業	1	460,600	
	幼稚仔保育場造成事業	2	130,000	
	大規模増殖場開発事業	1	400,000	
	漁場造成事業	1	328,740	
	浅海漁場開発事業	1	860,000	沿構から継続
	計	39	2,478,030	
第2次沿整 (S57~62)	並型魚礁設置事業	22	164,190	
	大型魚礁設置事業	4	129,219	
	人工礁漁場造成事業	2	621,450	
	幼稚仔保育場造成事業	1	34,190	第1次沿整から継続1件
	小規模増殖場造成事業	4	613,930	
	大規模増殖場造成事業	1	337,000	
	海域礁設置事業	3	1,257,820	
	磯根漁場造成事業	4	848,300	
計	41	4,006,099		
第3次沿整 (S63~H5)	並型魚礁設置事業	32	322,892	
	大型魚礁設置事業	8	432,870	
	人工礁漁場造成事業	3	781,600	第2次沿整から継続1件
	地先型増殖場造成事業	9	1,191,600	
	広域型増殖場造成事業	2	246,200	
	小規模増殖場造成事業	1	39,210	第2次沿整から継続1件
	大規模増殖場造成事業	1	153,058	第2次沿整から継続1件
	海域礁設置事業	2	808,000	第2次沿整から継続2件
	磯根漁場造成事業	3	472,780	第2次沿整から継続3件
	小規模漁場保全事業	1	10,000	
計	62	4,458,210		
第4次沿整 (H6~13)	並型魚礁設置事業	20	382,880	
	大型魚礁設置事業	10	525,652	
	人工礁漁場造成事業	5	1,999,491	第3次沿整から継続2件
	地先型増殖場造成事業	12	792,790	第3次沿整から継続2件
	広域型増殖場造成事業	1	65,050	
	小規模漁場保全事業	8	80,000	
	大規模漁場保全事業	1	305,000	
計	57	4,150,863		

区 分	事 業 名	件数	事業費(千円)	備 考
水産基盤整備 (H14~R3)	広域漁場整備事業	2	447,589	第4次沿整から継続1件
	漁港漁場機能高度化事業	4	222,966	
	漁港漁場機能高度化統合補助事業	3	113,300	第4次沿整から継続1件
	水域環境保全創造事業	18	354,658	
	漁村再生交付金	8	398,267	
	地域水産物供給基盤整備事業	14	571,944	
	水産環境整備事業	8	1,721,668	
計	57	3,830,392		

(4) 水産基盤整備事業等（漁港整備）

令和3年度漁港関係整備事業

事業名	港数	事業費（千円）	
漁港整備事業	水産流通基盤整備事業	2	908,800
	水産物供給基盤機能保全事業	15	437,800
	水産生産基盤整備事業	7	703,020
	漁港施設機能強化事業	2	166,000
	漁港機能増進事業	2	41,400
	漁村再生交付金	0	0
	計	28	2,257,020
漁業集落環境整備事業	3	84,760	
海岸整備事業	海岸保全施設整備事業	3	325,074
	津波・高潮危機管理対策事業	3	190,500
	海岸環境整備事業	0	0
	漁港機能増進事業	0	0
	計	6	515,574
漁港維持修繕事業	5	50,940	
合計	42	2,908,294	

漁港関係整備事業の概要

事業名	事業の内容	整備できる施設
水産流通基盤整備事業	流通拠点漁港において、漁港施設の新設、改良を行う事業	防波堤、護岸、航路、泊地、物揚場、船揚場、道路、用地等
水産物供給基盤機能保全事業	漁港施設の既存ストックの老朽化対策を行う整備	同上
水産生産基盤整備事業	生産拠点漁港等において、漁港施設の新設、改良を行う事業	同上
漁港施設機能強化事業	漁港の既存施設の耐震診断・改良を行う整備	防波堤、護岸、物揚場、岸壁、道路、用地等
漁港機能増進事業	漁港のストック効果の最大化を図りつつ、就労環境の改善、安全性の向上及び漁港施設の有効活用等に資する施設の整備を行う事業	省力化・軽労化・就労環境改善施設（岸壁の屋根等）、有効活用促進施設（港内の増養殖施設等）、安全対策向上施設（防潮堤、はしごの設置等）
漁業集落環境整備事業	漁港の背後集落の生活環境の改善を図る事業	漁業集落道、上下水道、緑地、広場、防災安全施設等
海岸保全施設整備事業	高潮・波浪・津波等による被害から、又は、海岸侵食から守るため、漁港内の海岸保全施設の新設・改良、老朽化対策を行う事業	堤防、護岸、離岸堤等
津波・高潮危機管理対策事業	既存の海岸保全施設の緊急的な防災機能の確保及び避難対策を促進することにより、津波・高潮時における人命の優先的な防護を推進する事業	堤防、護岸、避難誘導灯等
海岸環境整備事業	海岸保全施設の整備に併せて、豊かで潤いのある海岸環境の整備を行う事業	緩傾斜護岸、養浜、緑地、広場等
漁港維持修繕事業	漁港施設の小規模な維持修繕を行う事業	防波堤、護岸、航路、泊地、物揚場、船揚場、道路、用地等

(5) 栽培漁業推進事業等

放流実績

(単位：千尾・千個)

魚種 \ 年度	H24	25	26	27	28	29	30	R1	2	3
ま だ い	257	273	271	266	272	265	225	-	-	-
ひ ら め	301	244	272	332	328	208	389	251	173	202
い さ き	473	529	528	466	600	593	279	197	53	52
あ わ び 類	258	226	367	388	474	504	246	389	268	226
お に お こ ぜ	79	123	49	98	-	-	-	-	-	-
く え	52	28	33	51	66	55	23	56	56	40
か さ ご	-	-	-	-	-	77	43	83	20	-



くえ卵の搾出



あわび類稚貝への給餌体験



放流前ひらめ稚魚の測定



いさき稚魚の放流体験

(6) 内水面漁業振興対策事業

ア 種苗放流事業実施状況

魚種	年度	H24	25	26	27	28	29	30	R1	2	3
あゆ(kg)		44,649	43,476	42,332	39,372	35,483	45,187	47,970	47,953	46,997	40,858
あまご(千尾)		531	447	476	461	436	508	499	624	671	602

イ あゆ産卵場造成事業実施状況

(単位：m²)

漁協	年度	H24	25	26	27	28	29	30	R1	2	3
紀ノ川		50,000	50,000	30,000	30,000	30,000 (親魚放流1,500kg)	30,000 (親魚放流250kg)	30,000 (親魚放流50kg)	10,000	10,000	10,000
有田川		2,800	2,700	1,400	1,500	1,600	1,600	1,600	1,600	1,750	2,000
日高川		400 (親魚放流392kg)	400 (親魚放流840kg)	400 (親魚放流400kg)	400 (親魚放流956kg)	400 (親魚放流1,000kg)	400 (親魚放流1,037kg)	400 (親魚放流991kg)	400 (親魚放流1,539kg)	400 (親魚放流2,423kg)	400 (親魚放流2,567kg)
富田川		2,400 (親魚放流300kg)	2,400 (親魚放流250kg)	2,400 (親魚放流250kg)	2,400 (親魚放流200kg)	2,400 (親魚放流200kg)	2,400 (親魚放流250kg)	2,400 (親魚放流250kg)	2,400 (親魚放流250kg)	2,400 (親魚放流210kg)	2,400 (親魚放流210kg)
日置川		3,000 (親魚放流250kg)	1,200 (親魚放流250kg)	3,000 (親魚放流250kg)	3,000 (親魚放流250kg)	3,000 (親魚放流250kg)	3,000 (親魚放流250kg)	-	3,000 (親魚放流250kg)	3,000 (親魚放流250kg)	3,000 (親魚放流250kg)
古座川		-	-	-	-	-	-	-	10,900 (親魚放流250kg)	-	-
計		58,600 (親魚放流942kg)	56,700 (親魚放流1,340kg)	37,200 (親魚放流900kg)	37,300 (親魚放流1,406kg)	37,400 (親魚放流2,950kg)	37,400 (親魚放流1,787kg)	34,400 (親魚放流1,291kg)	28,300 (親魚放流2,289kg)	17,550 (親魚放流2,883kg)	17,800 (親魚放流3,027kg)

ウ 内水面漁業振興対策施設整備事業実施状況

実施年度	事業主体	事業内容	事業費(千円)
S57	日高川漁協	あゆ種苗生産供給施設 飼育施設 1,482m ² 管理施設 154.5m ²	160,700
S60	日高川漁協	あゆ種苗中間育成施設 中間育成水槽 4面 給配水施設 電気設備	31,246
H7	日高川漁協	あゆ種苗生産供給施設 飼育棟 978m ² 機械棟 35m ²	148,452
H11	日高川漁協	あまご種苗生産供給施設 飼育棟 151.5m ² 飼育水槽 23個 魚病防疫検査施設 検査棟 107m ² 生物実験機器一式	78,138
H17	日高川漁協	海水取水施設 取水井戸 300mm×15m 取水槽 9.0m ³ 取水ポンプ 濾過装置 車輻等消毒防疫施設 消毒ゲート設備、防風壁、靴替え室、場内器具等消毒通路	6,688
H23	日高川漁協	水産物加工処理施設 1F 219m ² 2F 129m ² 加工場、冷凍庫、冷風乾燥機、商品開発・研修室	104,680

(7) 金融対策事業

令和3年度貸付実績

(単位：千円)

	漁船建造等	その他個人施設	共同利用施設	漁業振興資金	経営改善			生活改善	青年漁業者養成確保	合計
					省力化機器	省エネ機器	その他	住居改善	漁業開始	
漁業近代化資金	21	1	2							24
代金	224,578	900	403,918							629,396
沿岸漁業改善資金					1					1
金額					4,675					4,675

主要制度資金の貸付実績

(単位：千円)

年度	漁業近代化資金		漁業経営維持安定資金		漁業経営再建資金		沿岸漁業改善資金	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
S63	130	812,310					123	129,773
H1	126	871,560	7	155,000	1	131,600	129	142,715
2	105	731,510					101	125,287
3	112	742,620					127	141,465
4	100	797,808					143	142,406
5	105	901,838					150	160,000
6	102	962,186					123	193,000
7	101	764,366			1	100,000	107	238,943
8	101	736,403					87	232,183
9	94	791,782					77	254,349
10	98	797,470					67	254,100
11	67	515,990					39	149,799
12	57	540,538					55	213,075
13	38	408,084					38	100,475
14	29	407,390					16	62,130
15	30	401,560					12	15,295
16	16	200,220					16	68,421
17	38	241,290					7	34,926
18	8	26,530					5	12,868
19	37	115,960					4	4,350
20	76	327,750					4	2,340
21	16	231,070					3	1,759
22	10	107,480					2	8,800
23	21	422,550					1	930
24	8	43,300					1	20,000
25	105	322,320					2	5,200
26	61	264,960					4	17,470
27	22	82,240					3	2,187
28	23	76,530					1	1,080
29	27	256,560					0	0
30	35	345,380					0	0
R1	23	317,331					0	0
2	72	314,893					0	0
3	24	629,396					1	4,675

※平成17年度から漁業近代化資金には漁業振興資金を含む

(8) プレミア和歌山認定品

和歌山県では、安全・安心を基本に、幅広い分野で優れた県産品を“和歌山らしさ”、“和歌山ならではの”の視点で推奨する「和歌山県優良県産品（プレミアム和歌山）推奨制度」を制定しています。



生鮮水産物

平成20年度

- しよらさん鯉
- 紀州勝浦産まぐろ
- 紀州梅まだい(養殖)

平成21年度

- 加太の一本釣り真鯛
- 紀州紀ノ太刀
- すさみケンケン鯉
- 紀州梅くえ(養殖)
- 紀州梅本マグロ(養殖)
- 大瀬戸の真鯛(養殖)
- 大瀬戸の本九絵(養殖)



紀州仕立て鮎(養殖)

平成22年度

- 加太の真鮎
- 戸坂のハモ
- 辰ヶ鱧
- 紀州ひろめ
- 紀州ひろめ(養殖)
- よしだ本鮪(養殖)

平成23年度

- 丈右衛門の鮎(養殖)

平成24年度

- 紀州仕立て鮎(養殖)

平成30年度

- さくらびんちょう

令和元年度

- 紀州アワビ紀和味(養殖)



加太の一本釣り真鯛

魚介類の水産加工品

平成20年度	10品目
平成21年度	5品目
平成22年度	9品目
平成23年度	13品目
平成24年度	8品目
平成25年度	11品目
平成26年度	3品目
平成27年度	4品目
平成28年度	4品目
平成29年度	16品目
平成30年度	3品目
令和元年度	10品目
令和2年度	13品目
令和3年度	21品目



紀州アワビ紀和味(養殖)

海藻類の水産加工品

平成20年度	1品目
平成23年度	2品目
平成24年度	1品目
平成27年度	5品目
平成30年度	4品目
令和2年度	1品目
令和3年度	2品目

蒲鉾類

平成20年度	5品目
平成21年度	3品目
平成27年度	2品目
平成28年度	1品目
令和元年度	1品目



さくらびんちょう

(9) 魚食普及・漁業体験交流活動

漁協女性部や県漁連、漁業士連絡協議会、各漁協、市町などが連携して実践



「魚の骨を知って楽しくおいしく食べよう」出張講座



くじらの出前授業



漁業士連絡協議会による魚食普及活動



漁協女性部による郷土料理の提供



漁業士連絡協議会によるタッチプール



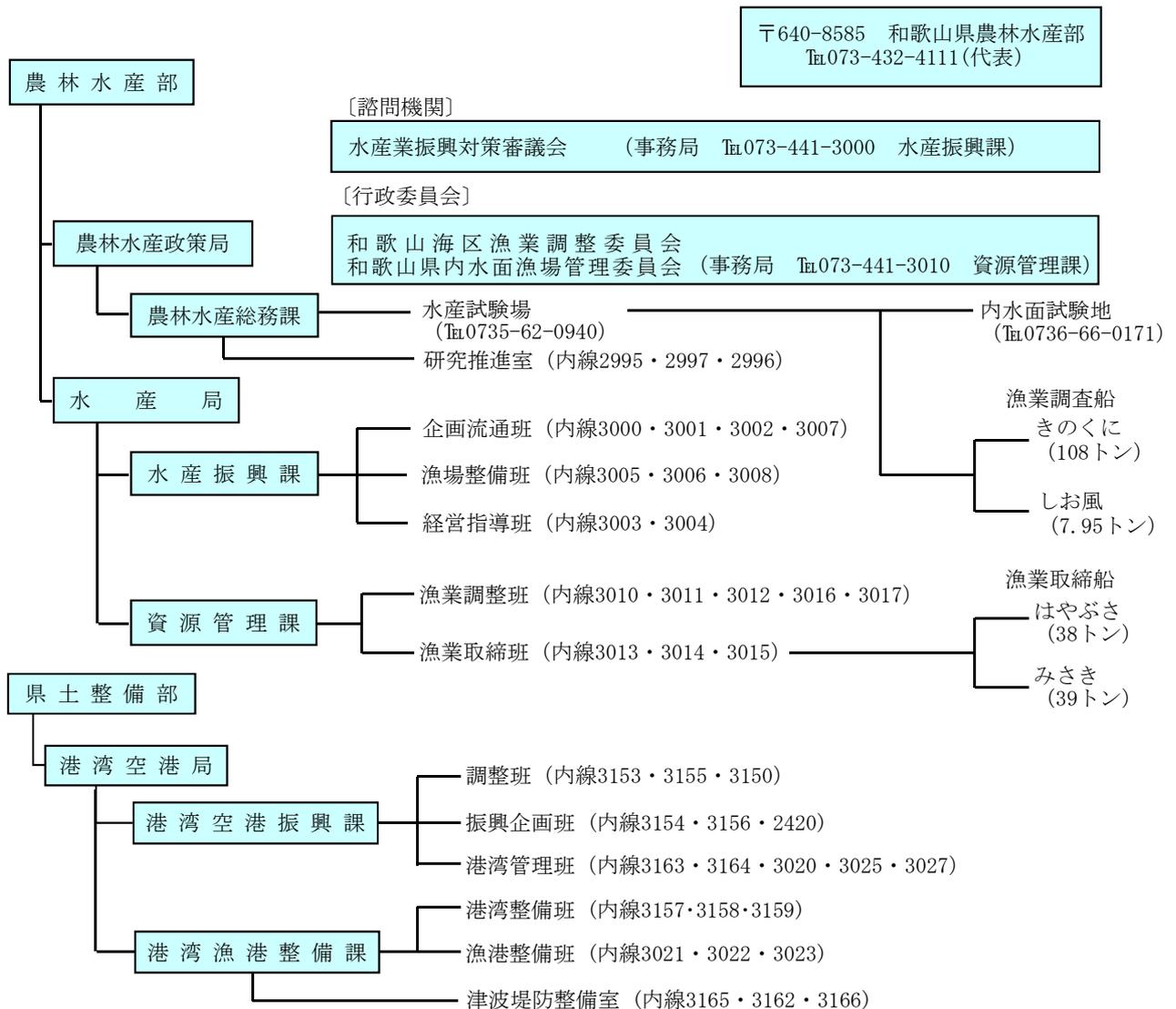
料理体験



漁港見学

III 組 織 等

(1) 和歌山県水産行政機構



[出先機関]

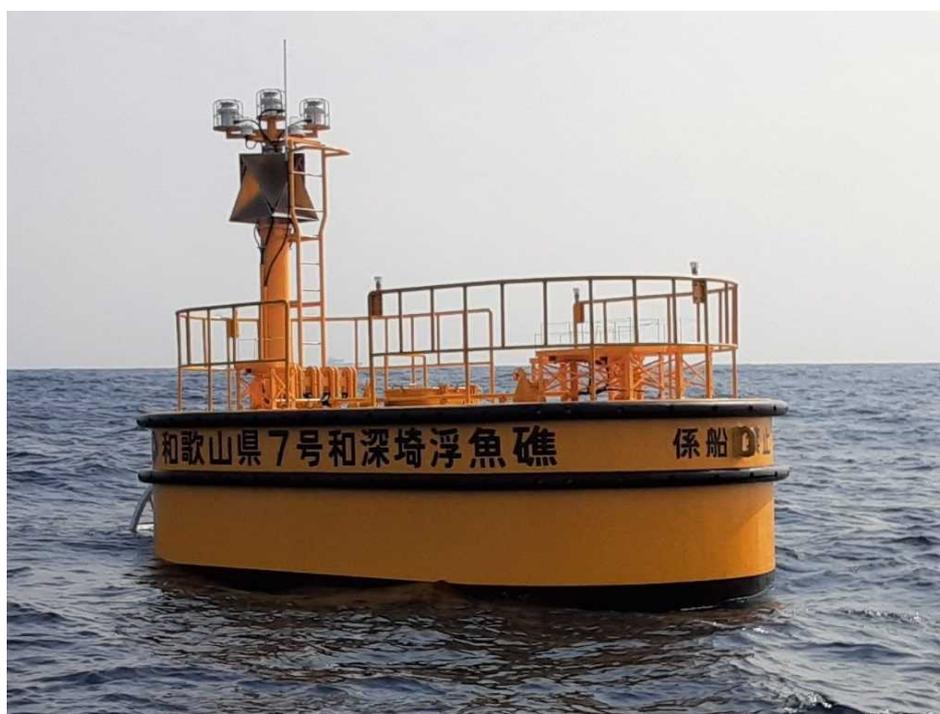
海草振興局	農業水産振興課	総務・振興グループ	Tel.073-441-3385
有田振興局	農業水産振興課	総務・振興グループ	Tel.0737-64-1273
	管理保全課	管理グループ、保全グループ	Tel.0737-64-1284
	工務課	河港グループ	Tel.0737-64-1272
日高振興局	農業水産振興課	総務・振興グループ	Tel.0738-24-2946
	管理保全課	管理グループ、保全グループ	Tel.0738-24-2931
	河港課	港湾・漁港グループ	Tel.0738-24-2968
西牟婁振興局	農業水産振興課	総務・振興グループ	Tel.0739-22-1443
	管理保全課	管理グループ、保全グループ	Tel.0739-26-7949
	工務課	河港グループ	Tel.0739-26-7925
東牟婁振興局	農業水産振興課	総務・振興グループ	Tel.0735-29-2011
	申本建設部管理保全課	管理グループ、保全グループ	Tel.0735-62-0755
	申本建設部工務課	河港グループ	Tel.0735-62-0755
	新宮建設部管理保全課	管理グループ、保全グループ	Tel.0735-21-9654
	新宮建設部工務課	港湾・漁港グループ	Tel.0735-21-9625
那賀振興局	農業水産振興課	総務・振興グループ	Tel.0736-61-0025
伊都振興局	農業水産振興課	総務・振興グループ	Tel.0736-33-4930
和歌山下津港湾事務所	総務管理課・工務課		Tel.073-431-7266

(公財) 和歌山県栽培漁業協会 (事務局 Tel.073-459-1225)
 (北部栽培漁業センター ")
 (南部栽培漁業センター Tel.0735-67-7770)

(2) 水産関係予算（当初予算）

（単位：千円）

科目		年度									
		H25	26	27	28	29	30	R1	2	3	4
農林水産部	水産業総務費	1,147,680	1,150,071	437,995	439,123	474,717	475,153	475,683	475,065	474,452	456,383
	水産業振興費	90,565	156,926	84,279	80,181	101,457	107,508	122,565	148,793	159,913	141,544
	水産業協同組合指導費	19,816	18,869	14,511	13,919	7,757	1,683	1,136	1,113	1,035	963
	漁業調整費	32,216	34,291	34,208	25,430	17,660	17,553	17,273	17,835	17,125	16,906
	漁業取締費	77,641	96,959	256,727	351,033	121,081	49,215	83,636	116,306	103,623	153,365
	漁業構造改善費	310,541	302,891	331,293	375,096	381,235	926,384	636,537	765,900	558,999	613,217
	試験場費（水産試験場）	323,654	303,887	302,832	269,789	266,124	307,688	842,700	1,055,792	115,352	70,144
	計	2,002,113	2,063,894	1,461,845	1,554,571	1,370,031	1,885,184	2,179,530	2,580,804	1,430,499	1,452,522
県土整備部	水産業総務費	74,464	80,181	85,372	84,335	63,790	61,872	67,432	63,931	61,009	79,973
	漁港管理費	23,284	21,755	25,639	26,275	25,206	24,283	23,607	23,043	24,646	25,865
	漁港建設費	1,955,835	1,985,382	1,999,755	2,366,026	1,917,817	1,712,891	1,413,552	2,221,242	1,517,239	1,536,503
	漁港施設災害復旧費	125,400	125,400	125,400	125,400	125,400	125,400	297,150	140,400	140,400	140,400
	計	2,178,983	2,212,718	2,236,166	2,602,036	2,132,213	1,924,446	1,801,741	2,448,616	1,743,294	1,782,741
合計	4,181,096	4,276,612	3,698,011	4,156,607	3,502,244	3,809,630	3,981,271	5,029,420	3,173,793	3,235,263	
沿岸漁業改善資金特別会計	102,413	102,380	102,333	102,225	102,155	160,687	96,361	90,931	31,890	28,783	



和歌山県7号和深崎浮魚礁 令和4年3月設置

(3) 水産団体

ア 漁業協同組合等の概況
 (ア) 海面漁業協同組合

(令和2年度会計)

組合名	組合員			理事	監事	職員	電 話	出資金 (千円)	販売事業 取扱高 (千円)	製氷冷蔵 取扱高 (千円)	漁業自営 販売高 (千円)
	正 (人)	准 (人)	計 (人)								
和歌山市 海南市	加 太	78	8	86	7	3	7 073-459-0062	166,000	114,275	950	0
	西 脇※	23	30	53	5	2	0 073-455-1832	538	51,560	534	0
	雑賀崎	60	2	62	8	2	4 073-444-2282	28,020	216,641	2,874	0
	和歌山北※	35	14	49	6	2	1 073-444-0867	13,668	0	1,564	0
	和歌浦	29	7	36	5	2	0 073-445-1621	3,250	58,804	2,300	0
	海南市	54	89	143	8	3	0 073-492-2117	5,515	69,998	0	0
有田市	有田箕島	415	101	516	16	4	11 0737-83-5555	72,407	1,356,440	35,105	0
有田郡	湯浅湾	123	223	346	12	3	4 0737-62-4581	62,806	291,573	10,062	0
御坊市 日高郡	紀州日高	354	1,095	1,449	15	4	14 0738-22-0451	335,066	808,509	31,206	22,465
	由良町	28	44	72	5	2	5 0738-65-1025	13,788	711	2,674	6,851
	比井崎	72	324	396	7	2	5 0738-64-2231	86,854	90,839	12,628	121
	三尾	27	170	197	5	2	2 0738-62-2201	30,325	115,038	611	9,407
田辺市 西牟婁郡	和歌山南	316	352	668	8	3	19 0739-22-8520	124,484	702,583	44,956	16,288
	新庄	29	304	333	6	2	0 0739-22-2057	6,993	242	0	3,154
	堅田	123	12	135	6	3	183 0739-42-3347	28,050	0	0	995,902
東牟婁郡	和歌山東	461	1,338	1,799	13	3	35 0735-62-0080	264,038	1,034,934	1,484,412	90,861
	太地町	121	198	319	6	3	17 0735-59-2340	12,667	283,800	72,858	81,883
	紀州勝浦	49	25	74	5	2	0 0735-52-0951	7,400	0	0	0
	宇久井	42	34	76	5	2	5 0735-54-0008	33,275	246,143	4,575	165,618
新宮市	三輪崎	26	21	47	5	2	1 0735-31-7019	12,211	65,091	3,171	0
	新宮	47	26	73	6	2	1 0735-22-8622	635	52,939	0	69
合 計		2,512	4,417	6,929	159	53	314	1,307,990	5,560,120	1,710,480	1,392,619

※ R4.1 西脇漁業協同組合と和歌山北漁業協同組合が合併

(イ) 内水面漁業協同組合

(令和2年度会計)

組合名	組合員			理事	監事	職員	電話	出資金	放流量(R3年度)	
	正	准	計						あゆ	あまご
	人	人	人	人	人	人		千円	kg	尾
玉川	147	30	177	13	3	1	0736-54-4640	354	1,250	7,174
紀ノ川	354	130	484	15	3	3	0736-66-9111	9,500	4,746	16,000
貴志川	70	574	644	15	2	1	073-495-2114	3,122	700	5,000
有田川	635	20	655	3	1	1	0737-52-4863	3,275	6,900	24,000
日高川	799	0	799	12	3	7	0738-52-0224	63,920	4,707	248,000
切目川	28	169	197	6	2	0	0738-45-0032	199	200	-
南部川	30	154	184	6	2	0	0739-33-7506	184	100	-
富田川	59	37	96	6	3	0	0739-47-0710	1,130	1,450	20,000
日置川	241	52	293	12	3	1	0739-53-0023	879	3,605	60,000
古座川	357	144	501	8	3	1	0735-72-3800	1,058	2,240	20,000
七川	56	67	123	7	2	0	0735-77-0063	615	1,350	10,150
太田川	189	0	189	13	3	0	0735-58-0010	945	400	-
熊野川	1,044	0	1,044	13	3	1	0735-21-4193	1,044	13,210	191,810
合計	4,009	1,377	5,386	129	33	16		86,225	40,858	602,134

(ウ) 水産加工業協同組合

(令和2年度会計)

組合名	組合員			理事	監事	職員	電話番号	所在地	出資金
	正	准	計						
和歌山県水産加工業協同組合	27	0	27	6	2	1	0737-63-4690	〒643-0005 有田郡湯浅町大字栖原805	千円 1,770

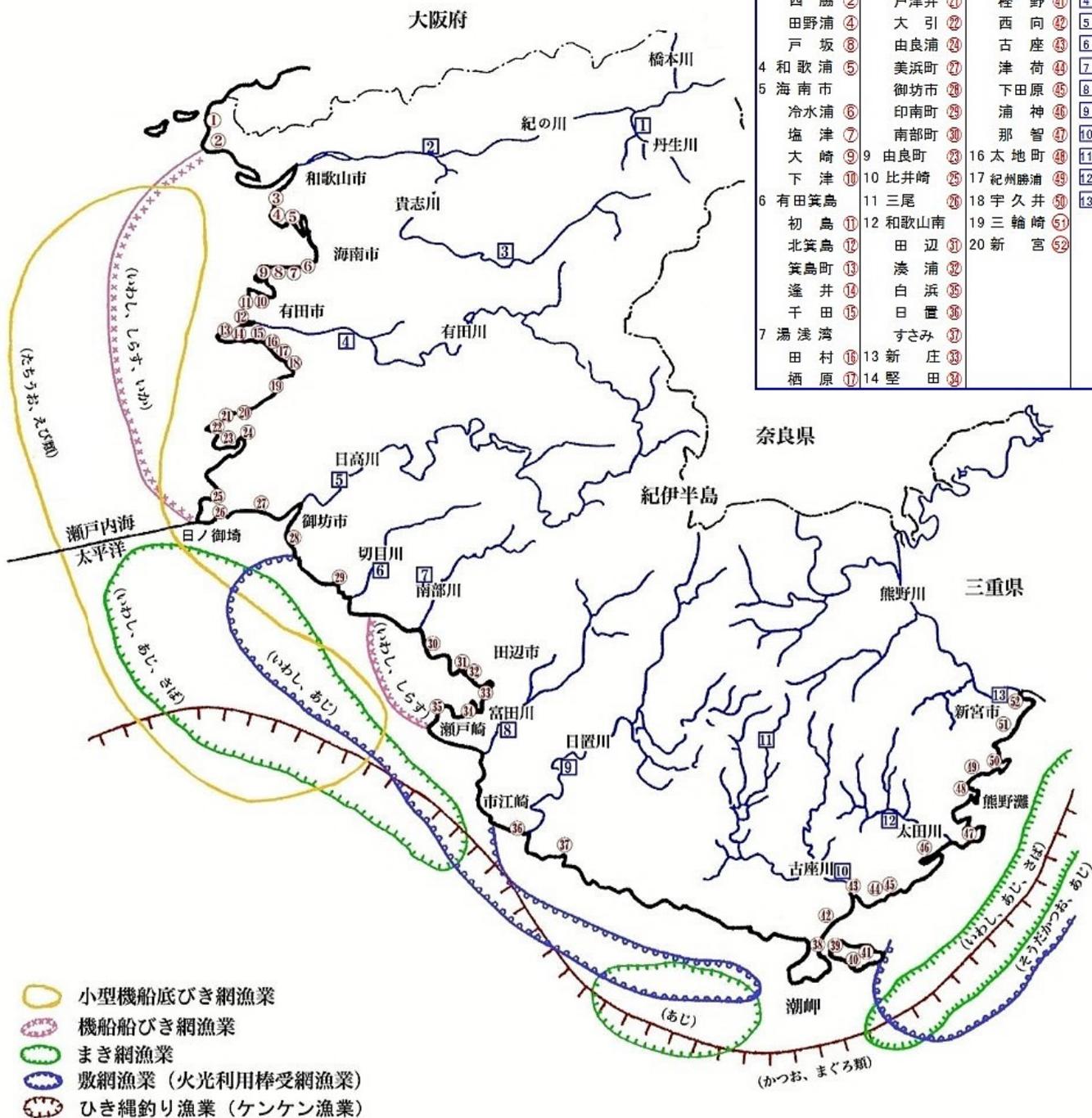
イ 漁業関係連合会等

(令和4年4月1日現在)

団体名	郵便番号	所在地	代表者	電話番号
和歌山県漁業協同組合連合会	640-8241	和歌山市雑賀屋町東ノ丁30 水産会館内	代表理事会長 木下吉雄	073-431-5101
和歌山県内水面漁業協同組合連合会	649-6112	紀の川市桃山町調月32-3 内水面試験地内	代表理事会長 大杉達	0736-66-0477
全国漁業信用基金協会 和歌山支所	640-8241	和歌山市雑賀屋町東ノ丁30 水産会館内	理事 嶋田栄人	073-432-4800
日本漁船保険組合 和歌山支所			支所長 濱端一生	073-422-8883
全国合同漁業共済組合 大阪・和歌山事務所			所長 亀井睦弘	073-433-3470
(一社)和歌山県漁業相互共済会			会長理事 堅田隆弘	073-488-2607
全国共済水産業協同組合連合会 和歌山支所			所長 高崎一郎	073-428-2363
(公財)和歌山県栽培漁業協会	640-0103	和歌山市加太1767-1	理事長 木下吉雄	073-459-1225
なぎさ信用漁業協同組合連合会 和歌山営業本部	640-8241	和歌山市雑賀屋町東ノ丁33	本部長 濱村規弘	073-432-0761

和歌山県の漁場概念図

海面漁協	湯浅中央	15 和歌山東	内水面漁協
1 加太 ①	8 唐尾 ⑮	串本 ⑳	① 玉川
2 雑賀崎 ③	9 紀州日高 ⑯	大島 ㉑	② 紀ノ川
3 和歌山北 ④	10 衣奈浦 ⑰	須江 ㉒	③ 貴志川
西脇 ②	11 戸津井 ⑱	檜野 ㉓	④ 有田川
4 田野浦 ⑤	12 大引 ⑲	西向 ㉔	⑤ 日高川
5 和歌浦 ⑥	13 由良浦 ㉕	古座 ㉕	⑥ 切目川
6 海南市 ⑦	14 美浜町 ㉖	津荷 ㉖	⑦ 南部川
塩津 ⑦	15 海南市 ㉗	下田原 ㉗	⑧ 富田川
大崎 ⑧	16 冷水浦 ㉘	浦神 ㉘	⑨ 日置川
7 下津 ⑩	17 南部町 ㉙	那智 ㉙	⑩ 古座川
6 有田箕島 ⑪	18 由良町 ㉚	16 太地町 ㉚	⑪ 七川
初島 ⑫	19 比井崎 ㉛	17 紀州勝浦 ㉛	⑫ 太田川
北箕島 ⑬	20 三尾 ㉜	18 宇久井 ㉜	⑬ 熊野川
箕島町 ⑭	21 和歌山南 ㉝	19 三輪崎 ㉝	
逢井 ⑮	22 田辺 ㉞	20 新宮 ㉞	
千田 ⑯	23 湊浦 ㉟		
7 湯浅湾 ⑰	24 白浜 ㊱		
田村 ⑱	25 日置 ㊲		
栖原 ㉑	26 すさみ ㊳		
	13 新庄 ㉓		
	14 堅田 ㉔		



-  小型機船底びき網漁業
-  機船船びき網漁業
-  まき網漁業
-  敷網漁業 (火光利用棒受網漁業)
-  ひき縄釣り漁業 (ケンケン漁業)

私たちの暮らしをうるおす魚介類は このような漁法でとられています。

和歌山県は、紀伊半島の西部に位置しています。四国との間に、魚の宝庫といわれる紀伊水道をはさみ、昔から海と大きなかかわりを持ってきました。

本県の海域は、比較的穏やかな内海性の瀬戸内海、黒潮の影響を強く受ける外洋性の太平洋に分けられ、それぞれの海域の特性に合わせ、様々な種類の漁業が行われています。

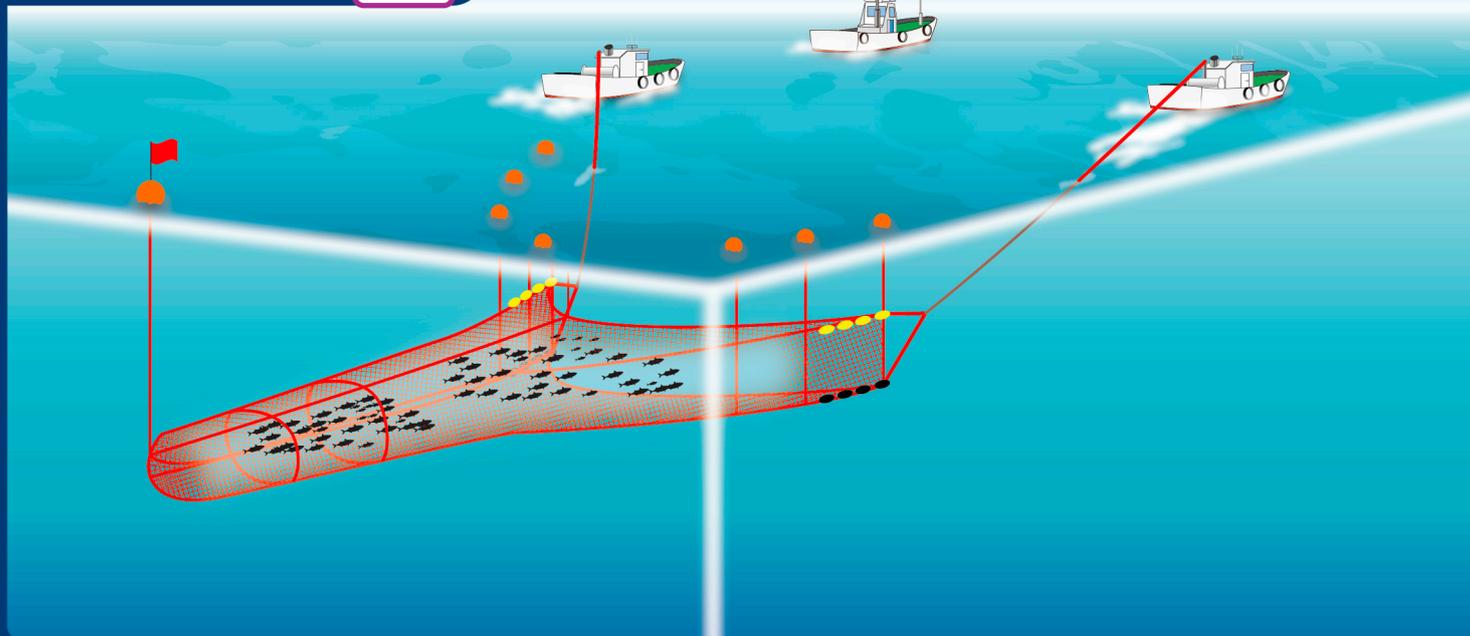
瀬戸内海海域では、一本釣り漁業、小型機

船底びき網漁業、機船船びき網漁業などが行われています。

また、太平洋海域では、ひき縄釣り漁業、はえ縄漁業、一本釣り漁業のほか、まき網漁業、定置網漁業、敷網漁業、刺網漁業などが行われています。

普段、私たちが食べている魚がどのようにして獲られているのか、みんなで一緒にふりかえてみましょう。

機船船びき網漁業



概要

袋状の網を船でひいて魚を獲る漁法です。
2隻の網船と魚探船(運搬船)の計3隻の船で漁を行います。

漁法の説明

- 1、魚探船が魚の群れを探します。
- 2、魚の群れを見つけると、2隻の網船が魚の群れに向かって網をひきます。
- 3、網をひく時間は通常、1時間～1.5時間です。

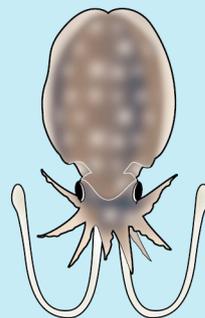
漁期

周年(盛漁期 春、秋)

漁獲物

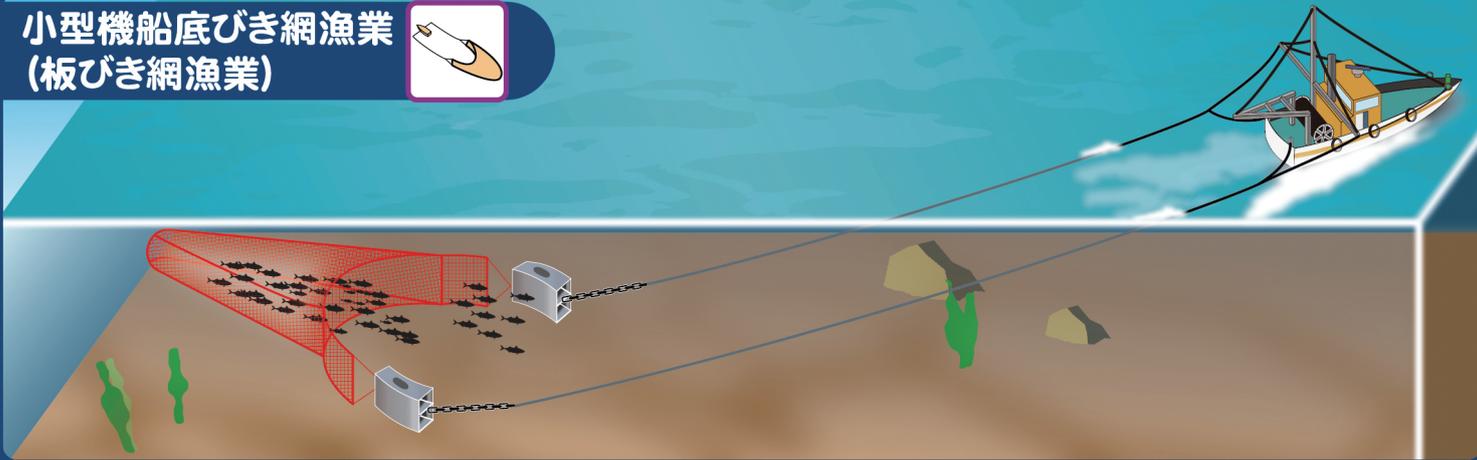


シラス



シリヤケイカ

小型機船底びき網漁業 (板びき網漁業)



概要

網の口を広げるための「開口板かいこうばん」をつけた袋状の網を船でひき、海底にいる魚を獲る漁法です。

漁法の説明

- 1、船の後ろから網を海に投げ入れます。
- 2、魚の群れを探しながら、網をひきます。
- 3、網をひく時間は約1時間です。
- 4、昼間に操業そうぎょうする場合は、午前4時頃に出港して、午後5時頃に帰港します。

※夜間に操業そうぎょうする場合は、午後2時頃に出港して翌日の午前3時頃に帰港します。

漁期

周年

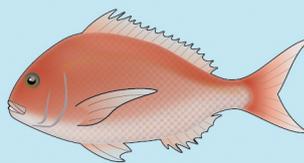
漁獲物



タチウオ



ハモ

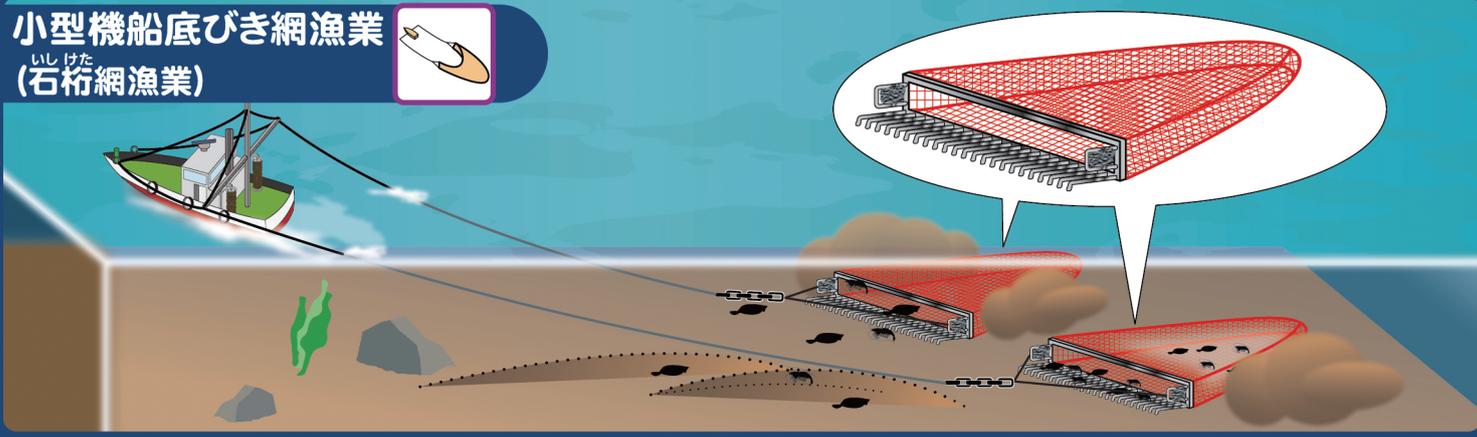


マダイ



エビ類

小型機船底びき網漁業 (石柝網漁業)



概要

鉄の柝わくと石のおもりをつけた袋状の網を海に沈め、船でひき、海底をかきおこして魚を獲る漁法です。

漁法の説明

- 1、鉄の柝わくをつけた網を海底に沈め、ワイヤーでひきます。
- 2、鉄柝わくの下側についた鉄の爪が海底をかきおこし、エビやカレイなどをとります。
- 3、網をひく時間は約45分です。

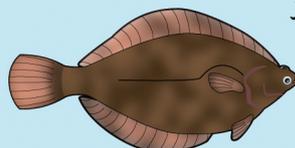
漁期

9月～翌年5月

漁獲物



エビ類

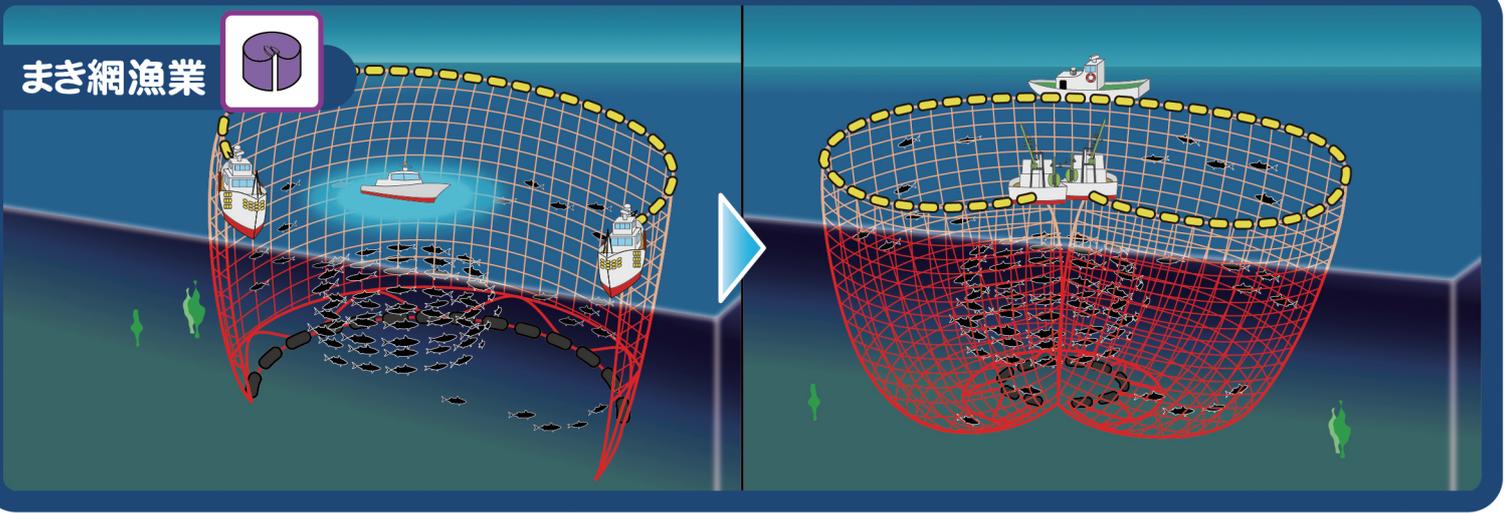


カレイ



アカシタビラメ

まき網漁業



概要

あかりで集めた魚の群れを網で取り囲み、魚を獲る漁法で、網船、魚探船（灯船）、運搬船など4〜7隻で船団を組んで漁を行います。

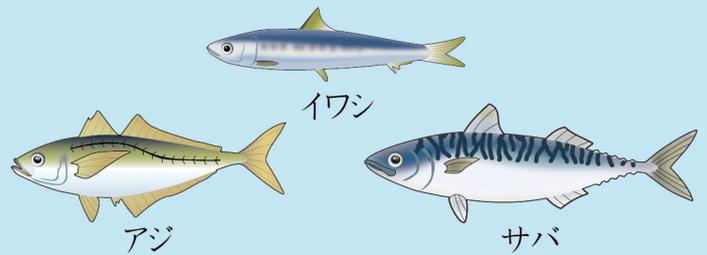
漁法の説明

- 1、魚探船が魚の群れを探し、あかりで魚を集めます。
- 2、網船は網で魚の群れを取り囲み、網の下部を巾着のようにしぼってあげます。
- 3、魚を運搬船に積み、港へ運びます。

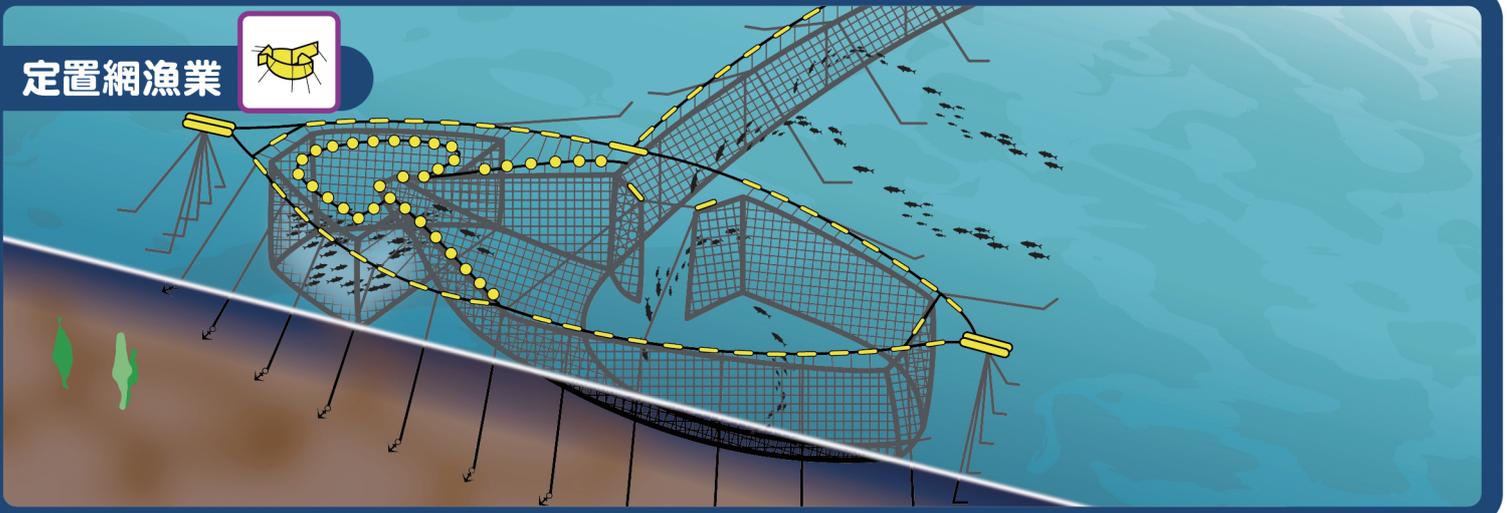
漁期

周年（盛漁期3月〜10月）

漁獲物



定置網漁業



概要

魚の通り道に大型の網を設置し、魚を誘導して獲る漁法です。

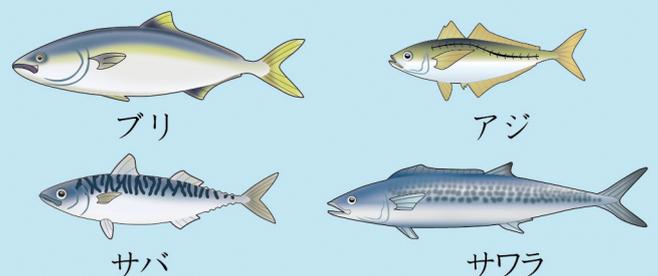
漁法の説明

- 1、海に網を設置し、魚が入るのを待ちます。
- 2、垣網に沿って魚群が沖側の囲網（運動場）に誘導され、登網（のりあみ）を通過して箱網（はこあみ）に落ちます。
- 3、通常、朝夕2回、網をあげます。

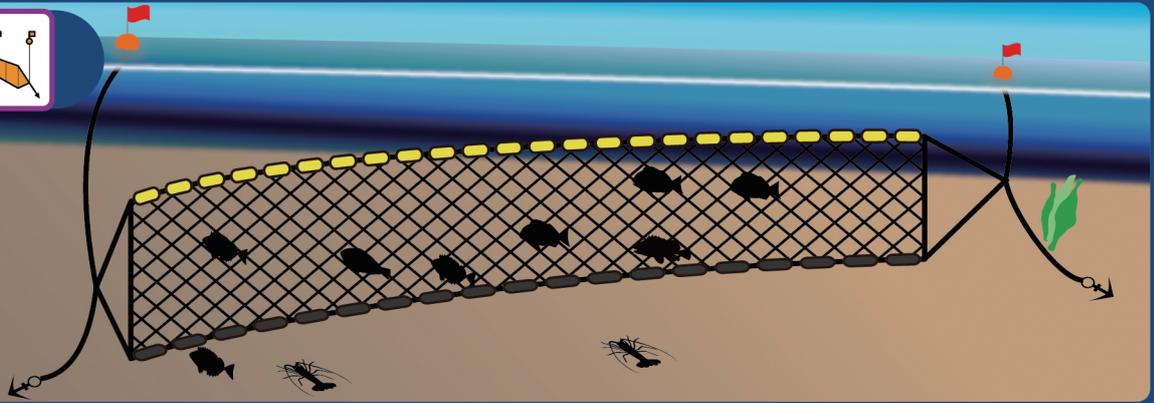
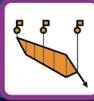
漁期

周年

漁獲物



ましあみ
刺網漁業
(固定式刺網漁業)



概要

めあい
目の異なる網地を2～3枚重ねた網を魚の通り道に仕掛け、魚を絡ませて獲る漁法です。

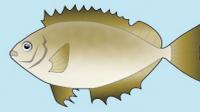
漁法の説明

- 1、岩場へゆっくり船を進め、網を繰り出します。
- 2、夕方までに網を仕掛け、翌朝にひきあげます。

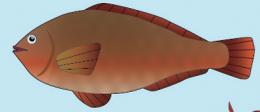
漁期

9月～翌年4月

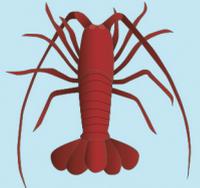
漁獲物



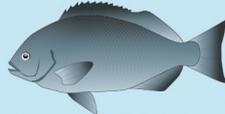
アイゴ



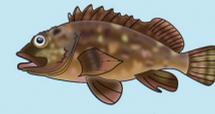
ブダイ



イセエビ



メジナ



カサゴ

しきあみ
敷網漁業
(火光利用棒受網漁業)



概要

あか
灯りで魚の群れを網の上に誘い、魚をすくい取る漁法です。

漁法の説明

- 1、灯りで魚を集めます。
- 2、魚が集まっている場所の反対側に網をはります。
- 3、灯りを網側に移し、魚を網の中へ移動させます。
- 4、網をすくいあげます。

漁期

4月～11月(盛漁期7月～10月)

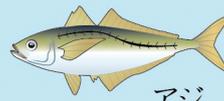
漁獲物



ソウダガツオ



イワシ



アジ



サバ

ひき縄釣り漁業 (ケンケン魚)



概要

船を走らせながら、餌にみせかけた擬餌針をつけた釣糸を複数ひいて、魚を獲る漁法です。擬餌針を魚の遊泳層まで沈めるために、潜航板を使用します。

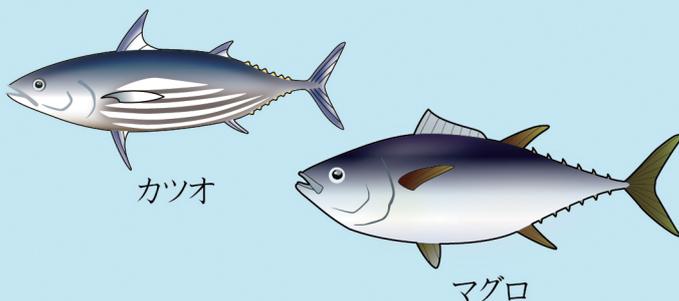
漁法の説明

- 1、1本のサオに1～3本の釣糸をつけ、船を走らせながら釣糸をひいて釣ります。
- 2、魚がかかると潜航板が反転して水面上に浮き上がるので、釣糸をたぐって魚を獲ります。

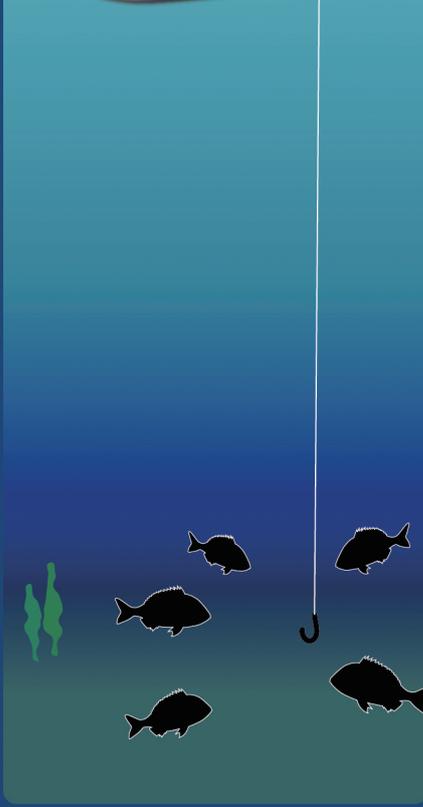
漁期

カツオ 2月～5月
マグロ 1月～3月

漁獲物



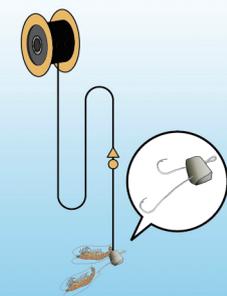
一本釣り漁業



概要

対象魚の遊泳層に合わせて釣針をおろし、魚を釣り上げる漁法です。

タイ一本釣り (カブラ釣り)



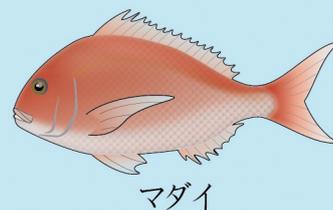
漁法の説明

- 1、餌(生きたエビ等)をつけた釣針を海底までおろします。
- 2、タイの泳いでいる深さに釣針をおろし釣り上げます。

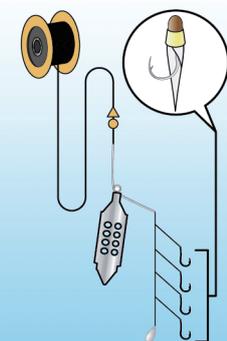
漁期

春、秋

漁獲物



アジ・イサキ 一本釣り



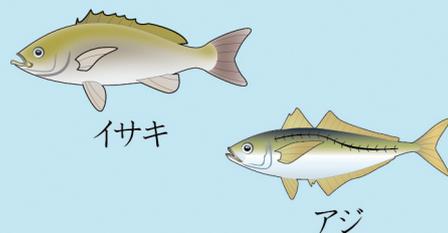
漁法の説明

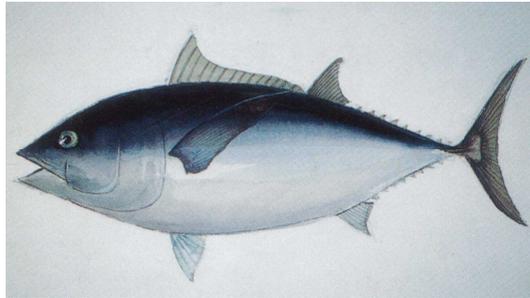
- 1、魚を集める餌をカゴに入れ水中でまきます。
- 2、餌にみせかけた擬餌針で魚を誘い釣りあげます。

漁期

周年

漁獲物





県の魚「まぐろ」
(昭和62年制定)

(令和4年6月発行)